

2020.12.02 作成

2020 年 11 月分新聞書評



ちよぼ〜加賀百万石を照らす月〜

諸田 玲子 著

新潮社

前田家の礎は利家とまつ、そして側室「ちよぼ」によって築かれた。能登に五重塔を建立し、月光菩薩のように慕われた女傑・ちよぼの人生の決定的瞬間を描いた連作短篇。『小説新潮』掲載を単行本化。

2020.9./ 218p

978-4-10-423517-9

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2020/11/01



アラバスターの手〜マンビー古書怪談集〜

A・N・L・マンビー／紀田 順一郎 著

国書刊行会

少年を誘う不気味な古書店主、呪われた聖書台の因果、ジョン・ディーの魔術書の怪…。ケンブリッジ大学図書館フェロー、英国書誌学会長を務めた特異な経歴の作家による、異色の古書怪談集。全 14 篇を収録する。

2020.9./ 260p

978-4-336-07034-0

本体 ¥2,700+税



産経新聞 2020/11/01



幻の「カフェー」時代〜夜の京都のモダニズム〜

斎藤 光 著

淡交社

明治末期に出現した「カフェー」。それは日本のモダニズムのはじまりの場所であり、特に京都では最新の文化を発信する尖端的空間だった。京都に実在したカフェーを豊富な図版とともに復元し、「カフェー」時代の全貌を描く。

2020.9./ 207p

978-4-473-04411-2

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2020/11/01



もてなしとごちそう

中村 安希 著

大和書房

ジンバブエで食べた中華麺、エジプトの春を知らせるボラ料理…。食べ継がれてきた世界各国の料理を味わい尽くす。味覚と嗅覚を刺激する「食の歓待」全 17 篇を収録。『NexTalk』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2020.9./ 255p

978-4-479-39354-2

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2020/11/01

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2020 年 12 月時点での税抜価格です。



どうなってるの? ウイルスと細菌〜めくって楽しい 111 のしかけ〜

サラ・ハル 著

ひさかたチャイルド

ウイルスと細菌について正しく知ろう! 目に見えない微生物の世界から、病気を治すからだの中のしくみまでをビジュアルに説明。111 のしかけをめくりながら、ウイルスや細菌の基礎知識が楽しく身につく。

2020/10./ 15p

978-4-86549-227-9

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/11/01



銀閣の人

門井 慶喜 著

KADOKAWA

銀閣寺東求堂にいまも残る“原点の部屋”「同仁齋」。日本家屋のスタンダードであり続けるこの四畳半の間に秘められた歴史とは? 孤独な将軍足利義政の静かで苛烈な半生に迫る歴史長編小説。『公明新聞』連載を加筆修正。

2020/9./ 429p

978-4-04-107235-6

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/11/07



私は女になりたい

窪 美澄 著

講談社

赤澤奈美は 47 歳、美容皮膚科医。シングルマザーとして息子を育て、老いた母の面倒を見ながら仕事一筋に生きていた。だがふとしたことから、14 歳年下の元患者と事故に遭うように恋に落ちて…。『小説現代』掲載を加筆修正。

2020/9./ 268p

978-4-06-520828-1

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/11/08



「グレート・ギャツビー」を追え

ジョン・グリシャム 著

中央公論新社

フィッツジェラルドの直筆原稿が強奪された。捜査線上に浮かんだブルースはフロリダで書店を営む稀覯本収集家。真相を探るべく送り込まれた新進小説家のマーサーは、ブルースに近づき、秘密の核心に迫ろうとするが…。

2020/10./ 413p

978-4-12-005341-2

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/11/08



命を危険にさらして〜5人の女性戦場ジャーナリストの証言〜

マリーヌ・ジャックマン／アンヌ・パリエール／パトリシア・アレモニエール／リズロン・ブドウル／アンヌ＝クレール・クードレイ 著

創元社

歴史の目撃者として苛烈な戦場を駆け抜けた彼女たちの苦悩と叫び、そして覚悟とは。1980年代から現在まで、各地の紛争や革命の現場を奔走した、5人の女性戦場ジャーナリストによるエッセイ集。

2020/10./ 191p

978-4-422-36012-6

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/11/08



広告会社からビジネスデザイン・カンパニーへ〜イノベーションを生み出す事業開発パートナーへの転換〜

湯浅 正敏 著

ミネルヴァ書房

最新の広告会社を取り巻くビジネス環境の変化を捉え、広告会社の今日的課題を包括的にまとめた書。デジタル変革期における広告クリエイティブの拡張と、持続的競争優位性の保持のために採るべき方策を考察する。

2020/11./ 10p,410p

978-4-623-08638-2

本体 ¥8,500+税



産経新聞 2020/11/08



国難の商人～白石正一郎の明治維新～

宮本 雅史 著

産経新聞出版

維新実現に全私財を投じながら、一切見返りを求めなかった男、白石正一郎。長州藩の末藩・清末藩で荷受問屋を営んでいた彼の「国を護る覚悟」を紐解く。『産経新聞』連載を加筆し書籍化。

2020/10./ 251p

978-4-8191-1392-2

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2020/11/08



玉電松原物語

坪内 祐三 著

新潮社

その町にはチンチン電車が走り、牧場には牛が群れる。駅前の商店街には、様々な人びとがいた。かつての世田谷を卓越した記憶力で再現した、私小説のごとき昭和と文化論。急逝した著者の遺作。『小説新潮』未完の連載を書籍化。

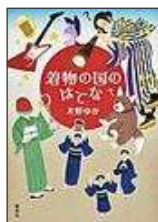
2020/10./ 186p

978-4-10-428105-3

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2020/11/08、読売新聞 2020/11/08



着物の国のはてな

片野 ゆか 著

集英社

約束事だらけの着物。そのルール、いつ誰が決めたの？ なぜ何十万円もするの？ 着物初心者ノンフィクション作家が謎に迫る。集英社オンラインメディア『OUrAge』掲載を大幅加筆・修正し単行本化。

2020/9./ 252p

978-4-08-786125-9

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2020/11/08、読売新聞 2020/11/15



音楽の肖像

谷川 俊太郎 著

小学館

バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンから、ストラヴィンスキー、エリック・サティまで。堀内誠一が遺した色彩豊かな 28 人の作曲家の肖像とエッセイに、谷川俊太郎が詩を添えた、宝石のような一冊。

2020/11./ 157p

978-4-09-388785-4

本体 ¥2,500+税



産経新聞 2020/11/08、毎日新聞 2020/11/21



なかよし別居のすすめ～定年後をいきいきと過ごす新しい夫婦の暮らし方～

松場 登美 著

小学館

群言堂ブランドのデザイナーで、再生古民家宿のオーナー。日々を楽しむ暮らしの達人が選択した、ハッピーな夫婦生活とは。夫婦で選んだ、互いの自由を尊重しつつ助け合って生きる「なかよし別居」について綴る。

2020/9./ 189p

978-4-09-388788-5

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2020/11/15



死刑賛成弁護士(文春新書 1274)

犯罪被害者支援弁護士フォーラム 著

文藝春秋

「弁護士はみな死刑反対」と考えるのは大間違い！被害者遺族の悲嘆と刑事裁判の理不尽さを知悉する弁護士らが、死刑反対派の欺瞞、死刑廃止国が行っている現場射殺の実態など、知られざる真実を“告発”する。

2020/7./ 253p

978-4-16-661274-1

本体 ¥880+税



産経新聞 2020/11/15



犬がいた季節

伊吹 有喜 著
双葉社

ある日、高校に迷い込んだ子犬。生徒と学校生活を送ってゆくなかで、その瞳に映ったものとは。昭和から平成、そして令和へ。いつの時代も変わらぬ青春のきらめきや切なさを描く。『小説推理』掲載を改題し加筆修正。

産経新聞 2020/11/15

2020/10./ 346p
978-4-575-24325-3
本体 ¥1,600+税



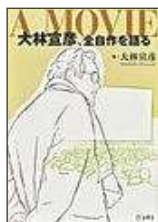
OKI〜囚われの国〜

杉山隆男 著
扶桑社

島根県隠岐の島に上陸した、謎の武装集団。“静かな支配”を展開する彼らに、政府は、自衛隊は？ 国防を知り尽くした著者による、迫真のドキュメント小説。『正論』連載を加筆修正して単行本化。

産経新聞 2020/11/15

2020/9./ 270p
978-4-594-08604-6
本体 ¥1,700+税



A MOVIE〜大林宣彦、全自作を語る〜

大林 宣彦 著
リットーミュージック

映画作家・大林宣彦の全記録。商業デビュー作「HOUSE/ハウス」から「花筐/HANAGATAMI」までの映画作品、テレビ放送作品について語る。大林恭子インタビュー、関係者のエッセイ、フィルモグラフィも掲載。

産経新聞 2020/11/15

2020/10./ 759p
978-4-8456-3541-2
本体 ¥3,200+税



バンクシー〜壁に隠れた男の正体〜

ウィル・エルスワース=ジョーンズ 著
PARCO出版

アウトローからアーティストへ昇りつめたバンクシー。身を隠しながら、自分自身の物語を守り続けて活動する彼の軌跡を追う。緻密な取材で人物像を浮き彫りにした貴重なポルタージュ。

産経新聞 2020/11/15

2020/6./ 481p
978-4-86506-334-9
本体 ¥2,000+税



推し、燃ゆ

宇佐見 りん 著
河出書房新社

ままならない人生を引きずり、祈るようにアイドル上野真幸を推すあかり。ある日、真幸がファンを殴って炎上し…。デビュー作「かか」が三島賞候補になった 21 歳の第 2 作。『文藝』掲載を単行本化。

産経新聞 2020/11/15、読売新聞 2020/11/22

2020/9./ 125p
978-4-309-02916-0
本体 ¥1,400+税



浅草迄

北野 武 著
河出書房新社

舞台は戦後から高度成長期に沸く東京。初めての記憶から、オリンピックを経て、学生運動の気運高まる時代の中、新宿を彷徨っていた大学時代まで、北野武の原点を描く私小説。『文藝』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

産経新聞 2020/11/21

2020/10./ 155p
978-4-309-02921-4
本体 ¥1,300+税





おいしい昆虫記(Natsume-sha Science)

佐伯 真二郎 著
ナツメ社

419 種の虫を食べ尽くした「蟲ソムリエ」が、昆虫食やその周囲の人々、虫をおいしく安全に食べる方法、人とかかわりの深い虫の魅力などについて、イラストを交えて解説する。おいしい昆虫ベスト 10、昆虫レシピも収録。

産経新聞 2020/11/21

2020/9./ 223p

978-4-8163-6895-0

本体 ¥1,200+税



驚異の標本箱～昆虫～

丸山 宗利／吉田 攻一郎／法師人 響 著
KADOKAWA

ブラチナコガネ、カタゾウムシ、アオヘリアオゴミムシなど、世界の実麗種、珍奇種など 100 種類以上の昆虫をヴィジュアルに紹介。特殊な撮影方法・深度合成によって、小さな昆虫のディテールを明らかにする。

産経新聞 2020/11/21、読売新聞 2020/11/29

2020/10./ 159p

978-4-04-109434-1

本体 ¥4,800+税



落葉の記

勝目 梓 著
文藝春秋

純文学、ハードボイルド、私小説など、322 冊を上梓した孤高の作家による最後の作品集。亡くなる前日まで書いていた長編「落葉日記」をはじめ「ひとこと」など全 8 編を収録。『オール讀物』『スペッキヤ』掲載を書籍化。

産経新聞 2020/11/22

2020/10./ 443p

978-4-16-391281-3

本体 ¥2,000+税



猫だまし

ハルノ 宵子 著
幻冬舎

乳がん、大腿骨骨折による人工股関節、大腸がん…。一筋縄ではいかない自身の闘病と、両親の介護と看取り、数多の猫や大切な人との出会いと別れをユーモラスに綴る。『小説幻冬』連載を単行本化。

産経新聞 2020/11/22

2020/10./ 263p

978-4-344-03687-1

本体 ¥1,500+税



アートにみる身ぶりとしぐさの文化史

デズモンド・モリス 著
三省堂

しぐさがわかれば美術がわかる! 動物行動学者で画家でもある著者が、有史以前の小立像や部族芸術、初期の宗教画から、現代アート、民芸品、ストリートアートまで幅広い作品を取り上げ、美術のしぐさを読み解く。

産経新聞 2020/11/22

2020/8./ 319p

978-4-385-16250-8

本体 ¥3,600+税



昭和史講義<戦後篇(上)>(ちくま新書 1508)

筒井 清忠 編
筑摩書房

真の歴史を知りたい人に贈る、最先端の現代史入門。戦後篇上は、占領期、天皇・マッカーサー会談から、55 年体制の成立、60 年代の自民党抗争史までを、第一線の研究者が 20 のテーマでわかりやすく説き明かす。

産経新聞 2020/11/22

2020/8./ 382p

978-4-480-07340-2

本体 ¥1,100+税





昭和史講義<戦後篇(下)>(ちくま新書 1509)

筒井 清忠 編

筑摩書房

真の歴史を知りたい人に贈る、最先端の現代史入門。戦後篇下は、高度成長時代の端緒となった石橋内閣から、東京オリンピック、石油危機、バブル期と昭和の終焉までを、第一線の研究者が 21 のテーマでわかりやすく説き明かす。

産経新聞 2020/11/22

2020:8./ 381p

978-4-480-07341-9

本体 ¥1,100+税



古代ローマ帝国軍非公式マニュアル(ちくま学芸文庫 マ 45-3)

フィリップ・マティザック 著

筑摩書房

時はトラヤヌス帝時代。古代ローマ帝国軍兵士になるための架空のガイドブック。入隊方法から正しい武器の選び方、陣営での戦闘訓練と日常生活、想定される敵の攻略法、実戦の心構え、退役後の生活設計までを図版等と共に解説。

産経新聞 2020/11/22

2020:11./ 301p

978-4-480-51015-0

本体 ¥1,350+税



愚直な検事魂～思い出の事件等とその真実～

井内 顯策 著

人間社

元建設大臣受託収賄事件、“金融腐蝕列島”事件、西武鉄道事件、カルロス・ゴーン被告の海外逃亡…。平成 22 年に検事を退官した著者が、これまでに遭遇した事件などについて綴る。

産経新聞 2020/11/22

2020:11./ 208p

978-4-908627-61-3

本体 ¥1,500+税



スター

朝井リョウ 著

朝日新聞出版

新人の登竜門となる映画祭でグランプリを受賞した尚吾と紘。2 人は名監督への弟子入りと YouTube での発信という真逆の道を選ぶ。作品の質や価値は何をもって測られるのか…。『朝日新聞』連載を加筆し単行本化。

産経新聞 2020/11/22、朝日新聞 2020/11/28、読売新聞 2020/11/29

2020:10./ 385p

978-4-02-251719-7

本体 ¥1,600+税



私を月に連れてって

鈴木 るりか 著

小学館

世捨て人の賢人がある日突然、恋に落ちる。その相手とは…。そして、その恋が、彼の生活、人格すべてを変えていき…。デビュー作「さよなら、田中さん」の名脇役が主役の表題作をはじめ、「遠くへ行きたい」など全 3 編を収録。

産経新聞 2020/11/28

2020:11./ 221p

978-4-09-386600-2

本体 ¥1,300+税



香り豊かな茶葉でおいしい至福のスイーツ～紅茶・抹茶・ほうじ茶・煎茶・中国茶～

坂田 阿希子／飯塚 有紀子／小堀 紀代美／ムラヨシ マサユキ 著

家の光協会

お茶好きな 4 人の料理家・菓子研究家が、紅茶・抹茶・ほうじ茶・煎茶・中国茶を使ったスイーツのレシピを紹介。焼き菓子からひんやりデザートまで、茶葉の風味が口の中に広がる、とっておきスイーツが満載。

産経新聞 2020/11/28

2020:11./ 79p

978-4-259-56667-8

本体 ¥1,500+税





藤原定家『明月記』の世界(岩波新書 新赤版 1851)

村井 康彦 著

岩波書店

稀代の歌人・藤原定家は、どんな日常を送っていたのか。生涯にわたって綴られた日記「明月記」を縦横に読み解き、等身大の定家を浮かびあがらせるとともに「武士の時代」の到来によって変貌をとげる宮廷社会を活写する。

2020.10./ 5p,259p,6p

978-4-00-431851-4

本体 ¥880+税



産経新聞 2020/11/29



ギネス世界記録<2021>

クレイグ・グレンディ 編

KADOKAWA

太陽系から、自然界、動物、人間、文化と社会、テクノロジー、ゲーム、ポップカルチャー、スポーツまで、あらゆるジャンルのギネス世界記録を網羅。日本版オリジナルページ、日本各地の記録も収録する。

2020.11./ 20p,252p

978-4-04-911050-0

本体 ¥3,300+税



産経新聞 2020/11/29



らせん状想像力～平成デモクラシー文学論～

福嶋 亮大 著

新潮社

平成の30年間、日本文学の現場で何が起こったのか。グローバリズムとネット空間に晒され、迷宮化する表現を明晰に読み解く。『新潮』『神戸新聞』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2020.9./ 274p

978-4-10-353561-4

本体 ¥2,400+税



産経新聞 2020/11/29



吉田謙吉が撮った戦前の東アジア～1934年満洲/1939年南支・朝鮮南部～

塩澤 珠江 著

草思社

舞台美術家であり、考現学の創始者であるデザイナー、吉田謙吉が、戦前の東アジア各地を訪れて撮影した写真とスケッチ画、定期刊行物や単行本に掲載された文章を集成。ハルビンの裏町の少女や、大陸浪人などを収録する。

2020.8./ 157p

978-4-7942-2467-5

本体 ¥3,000+税



産経新聞 2020/11/29



学校制服とは何か～その歴史と思想～(朝日新書 788)

小林哲夫 著

朝日新聞出版

学校の制服とはなんだろうか。制服史を振り返るとともに、制服モデルチェンジの歴史と現在などを詳しくレポート。制服を自由化した学校、自由化から制服を復活させた学校を検証し、制服のあり方について問題提起する。

2020.10./ 287p

978-4-02-295090-1

本体 ¥850+税



朝日新聞 2020/11/07



死者と言葉を交わすなかれ(講談社タイガ モ B-04)

森川 智喜 著

講談社

不狼煙さくらは探偵・彗山小竹との浮気調査中に、調査対象の死に遭遇。しかけた盗聴器からは“死者との会話”が流れ出してきた!? 自然死か、死者の呪いか。真相を追う2人は予想だにしない悪意に出遭い…。

2020.10./ 293p

978-4-06-521206-6

本体 ¥740+税



朝日新聞 2020/11/07



アンコンタクト〜非接触の経済学〜

キム・ヨンソプ 著

小学館

コロナウイルスは一つのきっかけに過ぎなかった。移動・対面を禁じられた人類は新たなステージへ。それがアンコンタクトである。政治、経済、宗教、恋愛、あらゆるシーンを破壊・革新する最強トレンドを解析する。

朝日新聞 2020/11/07

2020/9./ 312p,6p

978-4-09-388784-7

本体 ¥1,700+税



「男女格差後進国」の衝撃〜無意識のジェンダー・バイアスを克服する〜 (小学館新書 380)

治部 れんげ 著

小学館

日本の男女格差は先進国で最下位! 長年ジェンダー問題について取り組んできた著者が、世界の取り組みを紹介しつつ、日本で男女格差が縮まらない理由を考察。国内の成功例を挙げながら、次世代のためにできることを提案する。

朝日新聞 2020/11/07

2020/10./ 221p

978-4-09-825380-7

本体 ¥800+税



小僧の神様・城の崎にて 改版(新潮文庫)

志賀直哉 著

新潮社

朝日新聞 2020/11/07

2005/4./ 331p

978-4-10-103005-0

本体 ¥550+税



破船 改版(新潮文庫 よ-5-18)

吉村 昭 著

新潮社

嵐の夜、浜で火を焚き、近づく船を坐礁させ、その積荷を奪い取る…。僻地の貧しい漁村に伝わる、サバイバルのための異様な風習“お船様”が招いた、悪夢のような災厄を描く、異色の長編小説。

朝日新聞 2020/11/07

2012/6./ 240p

978-4-10-111718-8

本体 ¥520+税



幻のアフリカ納豆を追え!〜そして現れた<サピエンス納豆>〜

高野 秀行 著

新潮社

世界の食は納豆に通じていた。イスラム過激派出没地域から南北軍事境界線まで、著者は幻の納豆を求めて彷徨い歩く。そして取材の末に辿り着いた、人類の食文化を揺るがす新説「サピエンス納豆」とは…。高野ワークスの集大成。

朝日新聞 2020/11/07

2020/8./ 366p

978-4-10-340072-1

本体 ¥1,900+税



ガン・ストリート・ガール(ハヤカワ・ミステリ文庫 [刑事<ショーン・ダフィ>シリーズ] HM 462-6 [4])

エイドリアン・マッキンティ 著

早川書房

富豪の夫妻が射殺され、容疑者と目されていた息子が崖下で死体となって発見された。彼の過去に不審な点を感じたショーン・ダフィ警部補は新米の部下と真相を追う。だが事件の関係者がまたも自殺と思しき死を遂げ…。

朝日新聞 2020/11/07

2020/10./ 581p

978-4-15-183306-9

本体 ¥1,300+税





オリクスとクレイク

マーガレット・アトウッド 著
早川書房

人類が減った世界でひとり生き残ったスノーマンは回想する。いまはもうない爛熟した文化のこと。最愛のオリクスのこと、そして友人クレイクが何をしたのかを…。巨匠アトウッドの黙示録的大作。

2010.12./ 467p
978-4-15-209181-9
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2020/11/07



半グレと芸能人(文春新書 1286)

大島 佑介 著
文藝春秋

なぜ芸能人やスポーツ選手は半グレと接点を持つてしまうのか。関東連合をはじめ、多くの反社会的勢力を取材してきた『週刊文春』の元記者が、夜の現場体験をもとに、彼らが共通の“生息域”の住人である実態をレポートする。

2020.10./ 216p
978-4-16-661286-4
本体 ¥820+税



朝日新聞 2020/11/07



白の闇(河出文庫 サ 6-1)

ジョゼ・サラマーゴ 著
河出書房新社

突然の失明が巻き起こす未曾有の事態。運転中の男から車泥棒、篤実な目医者、美しき娼婦へと、「ミルク色の海」が感染していく…。ノーベル賞作家が「真に恐ろしい暴力的な状況」に挑み、世界を震撼させた長篇。

2020.3./ 421p
978-4-309-46711-5
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2020/11/07



災害の倫理～災害時の自助・共助・公助を考える～

ナオミ・ザック 著
勁草書房

命にかかわる災害時、誰が、どのような行動をとるべきなのか。地震・ハリケーン・テロ・感染症などの具体例を元に、功利主義、義務論、徳倫理など倫理学の観点から人々の行動のあり方について検討する。

2020.4./ 49p, 269p, 7p
978-4-326-15465-4
本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2020/11/07



ロマネスクとは何か～石とぶどうの精神史～(ちくま新書 1525)

酒井 健 著
筑摩書房

教会堂に刻まれる石の怪物、もだえる回廊の柱、許しを乞う祈りの声…厳粛なキリスト教を笑うかのような大らかで過剰な表象に満ちたロマネスク。近年の西洋中世研究の成果をふんだんに織り込んで、ロマネスクの時代精神に迫る。

2020.10./ 302p
978-4-480-07333-4
本体 ¥980+税



朝日新聞 2020/11/07



社会を知るためには(ちくまプリマー新書 359)

筒井 淳也 著
筑摩書房

「社会」という言葉は様々な形で使われていて、普段は存在を意識しないが、実態はとても曖昧だ。では、どうすれば「社会」を理解できるのか？ 複雑化、副作用、絡み合う因果関係など、その特徴をわかりやすく伝える。

2020.9./ 221p
978-4-480-68382-3
本体 ¥840+税



朝日新聞 2020/11/07



Think CIVILITY～「礼儀正しさ」こそ最強の生存戦略である～

クリスティーナ・ポラス、夏目 大 著

東洋経済新報社

礼節は最強の武器になる。「職場の無礼さ」を研究して 20 年の著者が、職場の礼節を高める方法を、調査結果を多数織り込んで解説。礼節メールの極意、危険人物の見抜き方なども紹介する。

2019/6./ 25p,317p

978-4-492-04649-4

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/11/07



ゾンビ襲来～国際政治理論で、その日に備える～

ダニエル・ドレズナー、谷口 功一、山田 高敬 著

白水社

ゾンビの突発的発生は必ず起こる！ 国際政治学の世界的権威で、ゾンビ研究会諮問委員の著者が、「その日」にどう備えるべきか、対応策を分かりやすく提示する。ゾンビ襲来という深刻な問いにマジメに挑んだ書。

2012/10./ 207p,33p

978-4-560-08249-2

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/11/07



男性の育休～家族・企業・経済はこう変わる～(PHP 新書 1233)

小室 淑恵、天野 妙 著

PHP研究所

なぜ男性育休が普及しないのかを、2 人の著者の専門領域であるダイバーシティ推進・働き方改革の知見を交え、豊富なデータや具体的事例をもとに詳説。議論が進む「男性育休義務化」にも触れる。

2020/9./ 194p

978-4-569-84701-6

本体 ¥880+税



朝日新聞 2020/11/07



戦争と平和を考える NHKドキュメンタリー

日本平和学会 編

法律文化社

アジア太平洋戦争、日米関係の中の沖縄の現実、原爆の体験…。平和研究・教育の映像資料として広く参照されるべき NHK ドキュメンタリー番組を厳選。番組の歴史的な文脈やグローバルな背景について専門家が解説する。

2020/10./ 11p,189p

978-4-589-04103-6

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/11/07



1 キロ 100 万円の塩をつくる～常識を超えて「おいしい」を生み出す 10 人～(ポプラ新書 199)

川内 イオ 著

ポプラ社

独自のアイデアで市場を切り開き、自分の暮らしも大切にしながら国内外で活躍の場を広げている 10 名の食のイノベーターを取材。強烈な想いを胸に抱えて突き進む姿を紹介する。これからの働き方、生き方のヒント。

2020/10./ 269p

978-4-591-16794-6

本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/11/07



大学で学ぶ東北の歴史

東北学院大学文学部歴史学科 編

吉川弘文館

日本史を「東北」から見るとどのような姿になるのか。日本史に東北の歴史を位置付けるため最適なテーマを選び、遺跡・争乱・人物や自然災害などのトピックスを盛り込んだ通史テキスト。

2020/9./ 11p,251p

978-4-642-00834-1

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2020/11/07



定本災害ユートピア～なぜそのとき特別な共同体が立ち上がるのか～ (亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 3-14)

レベッカ・ソルニット 著

亜紀書房

災害時になぜ人々は無償の行為を行うのか？ そのとき、なぜエリートはパニックを起こし、人々は自発的な秩序をつくり上げるのか？ 危機の最中に現れる人々の自発的な相互扶助のメカニズムを追う。

2020/9./ 505p
978-4-7505-1662-2
本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2020/11/07



スポメニク～旧ユーゴスラヴィアの巨大建造物～

ドナルド・ニービル 著

グラフィック社

旧ユーゴスラヴィア圏に建設されたスポメニク(記念碑)81点を掲載。どこか近未来的な雰囲気を出し出すそれぞれの建築物を、歴史、建築デザインが行われた背景、立地に関する情報とともに紹介する。

2020/8./ 207p
978-4-7661-3420-9
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2020/11/07



昭和の寄席の芸人たち～赤塚盛貴写真集～

赤塚 盛貴 著

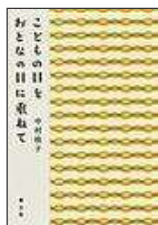
彩流社

志ん生、文楽、圓生…。新宿末廣亭にずらりと並んだ昭和の名人上手たち。そして、今日も活躍する噺家たちの若き日の高座姿。末廣亭の元「専属写真術師」が撮影した、素晴らしい芸人たちの写真集。

2020/10./ 114p
978-4-7791-2679-6
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2020/11/07



こどもの目とおとなの目に重ねて

中村 桂子 著

青土社

こどもの視線でのぞいてみれば-。「生命誌」を提唱する著者が、競争第一で発展に突き進み、息づまる社会をやわらかな感性で問い返す。『中日新聞』を中心に新聞・雑誌等の掲載記事を単行本化。

2020/8./ 198p
978-4-7917-7304-6
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/11/07



あなたを閉じこめる「ずるい言葉」～10代から知っておきたい～

森山 至貴 著

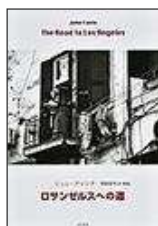
WAVE出版

「あなたのために思って」「悪気はないんだから」…。 “カクレ悪意”や“カンチガイ善意”を見抜け！ 大人より弱い立場にある子どもが、「ずるい言葉」にだまされないようにするためのヒントを伝える。

2020/8./ 208p
978-4-86621-303-3
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/11/07



ロサンゼルスへの道

ジョン・ファンテ、栗原 俊秀 著

未知谷

ページに叩きつけられた言葉の苛烈さ、奔放さ、そして、そうした言葉に映し出される透きとおるような誠実さ-。ファンテの自伝的作品群とも目される「アルトゥーロ・バンデューニのサーガ」4部作の第1作を初訳。

2020/10./ 254p
978-4-89642-621-2
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2020/11/07



レベティコ〜雑草の歌〜(サウザンコミックス)

ダヴィッド・プリュドム 著

サウザンブックス社

1936年。アテネで政権を握った独裁者が、社会の周縁に住むミュージシャンたちをならず者とみなす決定を下し…。スラム街の人々の人生を歌うギリシャのブルース「レベティコ」のミュージシャンの長い1日をコミックで描く。

2020.10./ 102p

978-4-909125-24-8

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2020/11/07



ネヴァー・ゲーム

ジェフリー・ディーヴァー 著

文藝春秋

シリコンヴァレーに暗躍する連続誘拐犯。懸賞金のかかった事件に挑む人探しの名人にして流浪の名探偵ショウは、伶俐な頭脳とサバイバル術で完全犯罪を追う。冷酷なデス・ゲームの果てに浮かび上がる意外な真相とは？

2020.9./ 383p

978-4-16-391269-1

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2020/11/07、産経新聞 2020/11/15



妻は忘れない(新潮文庫 や-83-1)

矢樹 純 著

新潮社

私はいずれ、夫に殺されるかもしれない。義父の弔問に訪れた前妻の佑香。妻の千紘は、夫が彼女とよりを戻したのではないかと疑い…。表題作をはじめ、全5篇を収録。『小説新潮』等掲載に書き下ろしを加えて文庫化。

2020.11./ 300p

978-4-10-102381-6

本体 ¥590+税



朝日新聞 2020/11/07、読売新聞 2020/11/29



Au オードリー・タン〜天才 IT 相 7 つの顔〜

アイリス・チュウ／鄭 仲嵐 著

文藝春秋

マスクアプリ開発で世界に名を馳せた台湾の天才 IT 担当大臣・オードリー・タン。IQ180 だが学歴は中卒。性別も越えた。知られざるその個性と哲学に迫る。レポート「台湾新型コロナウイルスとの戦い」も収録。

2020.9./ 271p

978-4-16-391286-8

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/11/07、日本経済新聞 2020/11/07、読売新聞 2020/11/15



日本語を、取り戻す。

小田嶋 隆 著

亜紀書房

この10年間、政権を担った総理大臣の口から漏れ出す日本語はあまりにも空疎だった…。世の中を真摯にそして斜めに睨みつづける著者が、雨後の筍のごとく湧いて出る様々な問題を、舌鋒鋭く、ユーモアいっぱいにとり捨てる。

2020.9./ 311p

978-4-7505-1660-8

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/11/07、日本経済新聞 2020/11/21



孤塁〜双葉郡消防士たちの3・11〜

吉田 千亜 著

岩波書店

原発が暴発・暴走するなか、地震・津波被災者の救助や避難誘導、さらには原発構内での給水活動や火災対応にもあたった福島県双葉消防本部の消防士約70名が、地元消防の苦難と葛藤を初めて語る。『世界』連載を大幅に加筆。

2020.1./ 7p,211p

978-4-00-022969-2

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/11/14



暴君〜シェイクスピアの政治学〜(岩波新書 新赤版 1846)

スティーブン・グリーンブラット 著

岩波書店

なぜ国家は繰り返し暴君の手に落ちるのか? 暴君と圧政誕生の社会的、心理的原因を探り、絶対的権力への欲望とそれがもたらす悲惨な結末を見事に描いたシェイクスピアが現代に警鐘を鳴らす。

2020/9./ 4p,255p,7p

978-4-00-431846-0

本体 ¥860+税



朝日新聞 2020/11/14



読書と人生(角川ソフィア文庫 L117-6)

寺田 寅彦 著

KADOKAWA

「科学者になるには自然を恋人としなければならない」科学啓蒙家でありながら、過度に科学を信仰する学徒を警めた寺田寅彦。彼の随筆の転換であり、近代市民精神の発見ともなった「丸善と三越」など全 29 篇を収録。

2020/10./ 345p

978-4-04-400589-4

本体 ¥840+税



朝日新聞 2020/11/14



大江健三郎全小説全解説

尾崎 真理子 著

講談社

1957 年のデビュー以来、約 60 年間に書かれた大江健三郎の長編 30 作、中・短編 66 作を全て解説。あらすじ、登場人物から状況設定、執筆時の時代背景、主要批評、新解釈等を掲載する。年譜、全作品書誌、文献一覧も収録。

2020/9./ 514p,11p

978-4-06-519506-2

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2020/11/14



風に吹かれて、旅の酒(集英社文庫 お 77-12)

太田 和彦 著

集英社

神戸でジャズ、山奥の村のクラス会、上野でとんかつ…。居酒屋探訪家が、70 歳を越えてもなお充実の日々をつづる。『サンデー毎日』の連載「浮草双紙」から選出した作品にカラー写真を添えて文庫化。

2020/10./ 252p

978-4-08-744174-1

本体 ¥840+税



朝日新聞 2020/11/14



野呂邦暢ミステリ集成(中公文庫 の 17-1)

野呂 邦暢 著

中央公論新社

芥川賞作家・野呂邦暢の多彩な作品の中からミステリ作品を初集成。早すぎる晩年の 5 年間に発表された「失踪者」「もうひとつの絵」「ある殺人」など、中短篇 8 篇とエッセイを年代順に収録する。

2020/10./ 324p

978-4-12-206979-4

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2020/11/14



電柱マニア

オーム社 編

須賀 亮行 著

オーム社

日本には約 3600 万本の電柱が立つ電柱大国。電柱には、電線の張り方や電線を支える腕金の形、変圧器やがいしの取り付け方など様々なバリエーションがある。個性豊かな電柱を、マニアックに深く楽しむための電柱ガイドブック。

2020/9./ 157p

978-4-274-22600-7

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/11/14



武漢日記～封鎖下 60 日の魂の記録～

方方 著

河出書房新社

身近な人が次々と死んでいく悲惨な状況、食料品やマスクの不足、医療現場の疲弊と焦燥…。新型コロナウイルス蔓延による 1100 万都市・武漢の完全封鎖の中で実情を綴った魂の記録。

朝日新聞 2020/11/14

2020/9./ 317p

978-4-309-20800-8

本体 ¥1,600+税



変動する大学入試～資格か選抜かヨーロッパと日本～

伊藤実歩子 著

大修館書店

ヨーロッパ各国の入試制度の特徴や課題を詳らかにし、かつ日本とも比較することをおして、これからの入試のあり方を考察する。コロナ流行下における各国の入試動向も取り上げるほか、各章末にブックガイドも掲載する。

朝日新聞 2020/11/14

2020/8./ 7p,278p

978-4-469-22272-2

本体 ¥3,000+税



メディアが動かすアメリカ～民主政治とジャーナリズム～(ちくま新書 1518)

渡辺 将人 著

筑摩書房

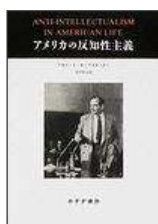
メディアはアメリカの政治をいかに動かし、また動かされてきたのか。トランプ現象を生んだリアリティテレビ、移民たちの新聞…。アメリカのテレビと選挙の現場を知り尽くした著者が、メディア大国の本当の姿を解き明かす。

朝日新聞 2020/11/14

2020/9./ 295p,5p

978-4-480-07339-6

本体 ¥920+税



アメリカの反知性主義

リチャード・ホーフスタッター、田村 哲夫 著

みすず書房

アメリカの知的伝統とは?知識人は民主主義の実現に貢献する力になれるのか?政治・宗教・実業・教育・文学…。建国から現代まで、アメリカ史の地下水脈を問うピューリッツァー賞受賞作。

朝日新聞 2020/11/14

2003/12./ 138p,11p

978-4-622-07066-5

本体 ¥5,200+税



アメリカの世紀と日本～黒船から安倍政権まで～

ケネス・B・パイル 著

みすず書房

米国と密接で特異な関係を結んだ敗戦国日本は、無条件降伏政策の呪縛と米国覇権の時代をどう生きたのか。政治、経済、社会、法律、精神という多方位から容赦なく描き出す。米国きっての日本研究者による、痛切な日本現代史。

朝日新聞 2020/11/14

2020/9./ 458p,54p

978-4-622-08936-0

本体 ¥4,800+税



世界の児童文学をめぐる旅

池田 正孝 著

エクスナレッジ

「秘密の花園」「不思議の国のアリス」「ナルニア国物語」シリーズ、「ピーターラビットのおはなし」…。40 年以上にわたって海外児童文学の舞台を訪ねてきた著者が、豊富な写真とともに物語の背景と創作の源泉に迫る。

朝日新聞 2020/11/14

2020/10./ 219p

978-4-7678-2822-0

本体 ¥1,800+税





誰かの理想を生きられはしない〜とり残された者のためのトランスジェンダー史〜

吉野 靱 著

青土社

「本当の」トランスジェンダーなんてない。「本当の」男女を追求する必要なんてない。見えないようにされていたもの、見てこなかったものについて、真摯に、丁寧に、しほりだすように紡ぎだされたトランスジェンダー史。

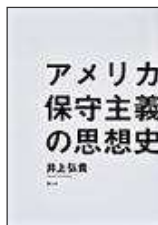
2020.10./ 209p

978-4-7917-7313-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/11/14



アメリカ保守主義の思想史

井上 弘貴 著

青土社

戦後アメリカの保守主義は「保守」という呼称に反し、アメリカ社会の改革をめざす思想だった。ニューライト、ネオコン、ペイリオコン…。アメリカの保守主義思想の展開を、中心的役割を果たした知識人の伝記的側面と共に描く。

2020.11./ 282p,18p

978-4-7917-7322-0

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2020/11/14



紙モノ・コレクション大百科〜絵はがきから鉄道切符まで〜

三遊亭 あほまろ 著

郵趣サービス社

紙モノ・コレクションを“紙様”と仰ぐコレクターが、その膨大なコレクションから多種多様なジャンルの紙様を選び抜き、時代背景や自身の想いとともを紹介する。『スタンブマガジン』掲載に新規画像を加えて書籍化。

2020.11./ 111p

978-4-88963-850-9

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/11/14



香港あなたはどこへ向かうのか

阿古 智子 著

出版舎ジグ

かつて香港で暮らしていた著者はその日々を振り返り、旧友や師と再会した。暴力、沈黙、抵抗をどう思っているのか？ 隣り合う台湾の政治文化や、歴史を忘却する日本に生きる自身と重ね、問いの共有と対話のあり方を模索する。

2020.9./ 261p

978-4-909895-04-2

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/11/14



全国学力テストはなぜ失敗したのか〜学力調査を科学する〜

川口 俊明 著

岩波書店

全国学力テストは失敗している！注目されるのは順位ばかり、テストの設計が中途半端、分析や活用が不十分…。学力調査の専門家が全国学力テストの問題点をわかりやすく説明し、望ましい全国学力調査の在り方を解説する。

2020.9./ 16p,184p

978-4-00-061419-1

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2020/11/21



形而上学<上>(岩波文庫)

アリストテレス、出隆 著

岩波書店

朝日新聞 2020/11/21

1959.12./ 391p

978-4-00-336043-9

本体 ¥1,070+税





ルボ トラックドライバー(朝日新書 792)

刈屋大輔 著

朝日新聞出版

ネット通販ビジネスは活況で、消費者が便利な生活を享受できる一方、ドライバーの労働条件は厳しくなっている。物流ジャーナリストの著者がドライバーに同乗取材し、知られざる労働現場と物流業界の実態に斬り込む。

朝日新聞 2020/11/21

2020.11./ 201p

978-4-02-295101-4

本体 ¥790+税



おうち性教育はじめます～一番やさしい!防犯・SEX・命の伝え方～(MF comic essay)

フクチ マミ/村瀬 幸浩 著

KADOKAWA

主に 3～10 歳の子どもを持つ家庭向けの性教育の本。「うちにも赤ちゃんはくる?」といった素朴な質問への答え方から、性犯罪の被害者・加害者にならないための日々の言葉かけ、思春期の心と体の変化まで、マンガで説明する。

朝日新聞 2020/11/21

2020.3./ 199p

978-4-04-064517-9

本体 ¥1,300+税



信長の原理<上>(角川文庫 時-か 78-2)

垣根 涼介 著

KADOKAWA

幼少時から孤独と満たされぬ怒りを抱えていた信長。家督を継ぎ、戦に明け暮れていたある日、奇妙な法則に気づき…。信長は周囲の愚かさに苛立ちながらも、軍事・経済の両面で戦国の常識を打破し、怒濤の血戦を制してゆく。

朝日新聞 2020/11/21

2020.9./ 373p

978-4-04-109864-6

本体 ¥740+税



信長の原理<下>(角川文庫 時-か 78-3)

垣根 涼介 著

KADOKAWA

信長が天下統一へと邁進する中、織田家中では師団長たちが苛烈な出世争いを続けていた。焼けつくような駆け引きはやがて「本能寺の変」の真相へと集束し…。理想を追い求めた異端児の苦闘と内面を新しい視点から抉り出す。

朝日新聞 2020/11/21

2020.9./ 406p

978-4-04-109865-3

本体 ¥740+税



まにまに道草(ワイド KC)

大町 テラス 著

講談社

昨日、娘が家を出た。主婦のハルコは「子育ての終わり」と「娘の独り立ち」をうれしく思う反面、寂しさも感じる。娘と離れ、「お母さん」としての役割を持て余す日々の中で、娘に知らず知らずのうちに依存していた「私」にハルコは気づいてゆく。これは「訪れた別れ」と向き合う「新しい私」に出会う物語。

朝日新聞 2020/11/21

2020.10./ 176p

978-4-06-521110-6

本体 ¥850+税



家族だから愛したんじゃなくて、愛したのが家族だった

岸田 奈美 著

小学館

車いすユーザーの母、知的障害のある弟、急逝した父-。一生に一度しか起こらないような出来事が、なぜだか何度も起きてしまう著者が綴る、笑いと涙の自伝エッセイ。

朝日新聞 2020/11/21

2020.9./ 221p

978-4-09-388778-6

本体 ¥1,300+税





仮面の告白 新版(新潮文庫 み-3-1)

三島 由紀夫 著

新潮社

女に魅力を感じず、血に塗れた死に憧憬しつつ自らの性的指向に煩悶する少年「私」。軍靴の響き高まる中、級友の妹と出会うが…。少年が到達した境地とは？典雅にしてスキャンダラスな性的自伝。詳細な注解付き。

朝日新聞 2020/11/21

2020:11./ 289p

978-4-10-105040-9

本体 ¥590+税



パワハラ問題～アウトの基準から対策まで～(新潮新書 878)

井口 博 著

新潮社

アウトとセーフの境界はどこにあるのか。被害を受けたら、被害を訴えられたらどうするのか。「パワハラ防止法」を徹底解説したうえで、予防策や危機管理、過去の判例などを詳述する。

朝日新聞 2020/11/21

2020:10./ 253p

978-4-10-610878-5

本体 ¥800+税



大学という理念～絶望のその先へ～

吉見 俊哉 著

東京大学出版会

なぜ、大学が問題なのか。「人文社会系は役に立たない」は本当か。大学院教育の未来形はどこにあるのか。危機の中で思考する渾身の大学論。2010～2019年に、様々な媒体で発表した論考を書籍化。

朝日新聞 2020/11/21

2020:9./ 6p,266p,4p

978-4-13-053092-7

本体 ¥2,900+税



旅する日曜美術館～日本の名画・名品を訪ねて～<北海道・東北・関東・甲信越・北陸>

NHK「日曜美術館」制作班 編

NHK出版

NHK「日曜美術館」が「日本の近世以降の名画・名品」を語った珠玉のメッセージを抽出し、関連作品を所蔵する美術館を紹介する。北海道・東北・関東・甲信越・北陸の41館を収録。データ:2020年9月現在。

朝日新聞 2020/11/21

2020:10./ 251p

978-4-14-081736-0

本体 ¥2,400+税



旅する日曜美術館～日本の名画・名品を訪ねて～<東海・近畿・中国・四国・九州>

NHK「日曜美術館」制作班 編

NHK出版

NHK「日曜美術館」が「日本の近世以降の名画・名品」を語った珠玉のメッセージを抽出し、関連作品を所蔵する美術館を紹介する。東海・近畿・中国・四国・九州の36館を収録。データ:2020年9月現在。

朝日新聞 2020/11/21

2020:10./ 243p

978-4-14-081737-7

本体 ¥2,400+税



オランダ宿の娘(ハヤカワ時代ミステリ文庫 JA ジ 10-1)

葉室 麟 著

早川書房

長崎屋の娘、るんと美鶴は、江戸参府のオランダ商館長が自分たちの宿に泊まるのを誇りにしていた。そんな2人が出逢った、日蘭の血を引く青年・丈吉は、かつて宿の危機を救った恩人の息子だった。姉妹は彼と心を通わせるが…。

朝日新聞 2020/11/21

2020:10./ 349p

978-4-15-031452-1

本体 ¥760+税





ゼロからつくる科学文明～タイムトラベラーのためのサバイバルガイド～

ライアン・ノース 著

早川書房

「大昔から現代に戻ることができなくなったタイムトラベラー」に向けて、ゼロから文明を再構築する方法をガイド。測定単位、役に立つ植物、薬、音楽など、あらゆるモノの発明方法を紹介する。周期表、三角関数表等も掲載。

2020/9./ 549p

978-4-15-209967-9

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2020/11/21



中古典のすすめ

斎藤 美奈子 著

紀伊國屋書店出版部

山崎豊子「白い巨塔」、小松左京「日本沈没」、村上春樹「ノルウェイの森」…。文芸評論家である著者が、ひと昔前のベストセラー48点の賞味期限を判定する。『scripta』連載に加筆修正して単行本化。

2020/8./ 317p

978-4-314-01152-5

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2020/11/21



宇宙に行くことは地球を知ること～「宇宙新時代」を生きる～(光文社新書 1090)

野口 聡一、矢野 颯子、林 公代 著

光文社

「誰もが宇宙に行ける日」が近づいている。民間による宇宙旅行時代の幕開けという歴史的転換点を迎えた今、宇宙飛行士・野口聡一と、「宇宙好き」のミュージシャン・矢野颯子が、宇宙体験からスペース X までを語る。

2020/9./ 262p

978-4-334-04497-8

本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/11/21



マンガ!～大英博物館マンガ展図録～

ニコル・クーリッジ・ルーマニエール 編

松葉 涼子 著

三省堂

日本発の視覚的な物語芸術として世界中で愛されるマンガ。現代のマンガとデジタル・アニメを歴史的ルーツとあわせて紹介する、2019 年の大英博物館の企画展の図録(日本語版)。多数の漫画家の作品やインタビューを収録。

2020/10./ 351p

978-4-385-16248-5

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2020/11/21



菖蒲狂い～若さま侍捕物手帖ミステリ傑作選～(創元推理文庫 Mし 10-1)

末國 善己 編

城 昌幸 著

東京創元社

柳橋の船宿に居候する謎の侍“若さま”は、事件の話をおきただけで真相を言い当てる名探偵でもあった。表題作ほか全 25 編を収録。「五大捕物帳」の一つにして、<隅の老人>に連なる伝説の安楽椅子探偵シリーズの決定版。

2020/9./ 657p

978-4-488-49911-2

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/11/21



ゲナポッポ(MOE のえほん)

クリハラ タカシ 著

白泉社

ある日、ハットさんが道ばたで拾った不思議な生き物、ゲナポッポ。ハットさんは、それを飾るための台を作りますが…。ユルくて、面白くて、深くて、なんだか癒やされるゲナポッポのお話。『月刊 MOE』掲載を加筆し再構成。

朝日新聞 2020/11/21

2020/10./ 63p

978-4-592-76276-8

本体 ¥1,300+税



山と獣と肉と皮

繁延 あづさ 著

亜紀書房

自然の命を殺して、食べて、生きる。長崎と佐賀の里山で狩猟者と過ごした時間、獣の死と皮革にまつわる「穢れ」の考察、そして野生肉をめぐる思索と料理の記録。ウェブマガジン『あき地』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

朝日新聞 2020/11/21

2020/9./ 238p

978-4-7505-1664-6

本体 ¥1,600+税



中村好文 百戦錬磨の台所<vol.1>

中村 好文 著

学芸出版社

食いしん坊で料理好きの建築家が、手塩にかけてデザインした台所とは。自慢の台所を使いこなす住まい手たちの幸福な台所の日常を、写真、図面とともに紹介する。vol.1 は、ジョンの台所、明月谷の家などを収録。

朝日新聞 2020/11/21

2020/10./ 127p

978-4-7615-2753-2

本体 ¥2,700+税



日本の観光～昭和初期観光パンフレットに見る～

谷沢 明 著

八坂書房

昭和初期の庶民の旅とは？ 大正期から第二次大戦前にかけての旅行案内書、鳥瞰図を参考にしつつ、とりわけ昭和初期の観光パンフレットに注目して、当時の観光旅行のスタイルや、日本各地域の観光地の姿を明らかにする。

朝日新聞 2020/11/21

2020/9./ 309p

978-4-89694-277-4

本体 ¥3,600+税



木のストロー

アキュラホーム 西口彩乃 著

扶桑社

森林保全の過程で発生した間伐材の活用と、使い捨てプラスチック問題の解決のため、ど素人の住宅会社広報担当が「木のストロー」制作に立ち上がった。木のストローを普遍性のあるビジネスモデルに展開するまでのストーリー。

朝日新聞 2020/11/21、産経新聞 2020/11/29

2020/10./ 239p

978-4-594-08631-2

本体 ¥1,400+税



春の雪 新版(新潮文庫 豊饒の海 み-3-21 第1巻)

三島 由紀夫 著

新潮社

ともに華族に生まれた松枝清頭と綾倉聡子。互いに惹かれ合うが、自尊心の強さから清頭が聡子を遠ざけると、聡子は皇族との婚約を受け入れる。若い二人の前に禁忌の道が拓かれ、度重なる密会の果て、ついに恐れていた事態が…。

朝日新聞 2020/11/21、読売新聞 2020/11/22

2020/11./ 485p

978-4-10-105049-2

本体 ¥800+税





命売ります(ちくま文庫)

三島 由紀夫 著

筑摩書房

朝日新聞 2020/11/21、読売新聞 2020/11/22

1998.2./ 269p

978-4-480-03372-7

本体 ¥680+税



「線」の思考～鉄道と宗教と天皇と～

原 武史 著

新潮社

小田急江ノ島線とカトリック、日蓮と「房総三浦環状線」…。鉄道に乗って隠された結びつきを見つけにゆこう。鉄道という「線」を辿り、古代～現代の地域に埋もれた歴史の地下水脈を幻視する。『小説新潮』掲載に加筆し書籍化。

2020.10./ 254p

978-4-10-332842-1

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/11/21、日本経済新聞 2020/11/21、毎日新聞 2020/11/28、読売新聞 2020/11/29



悲しみとともにどう生きるか(集英社新書 1045)

入江 杏 編

柳田 邦男／若松 英輔／星野 智幸／東畑 開人／平野 啓一郎／島菌 進 著

集英社

喪失の苦しみは、共感と支え合いの中で「希望の物語」へと変容する。入江杏の呼びかけに、柳田邦男、若松英輔、平野啓一郎らが応え、自身の喪失体験や悲しみとの向き合い方などについて語る。講演をもとに新書化。

2020.11./ 234p

978-4-08-721145-0

本体 ¥840+税



朝日新聞 2020/11/21、日本経済新聞 2020/11/28



ビジネスエリートが知っている教養としての日本酒

友田 晶子 著

あさ出版

今や世界のビジネスエリートがこぞって楽しみ、一流企業のトップビジネスマンがこっそり学んでいる日本酒。酒スペシャリストが、日本酒の製法、選び方、歴史、楽しみ方、マナー&ルールを紹介。

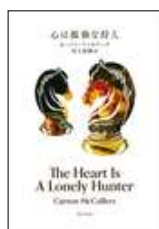
2020.10./ 285p

978-4-86667-233-5

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/11/22



心は孤独な狩人

カーソン・マッカラーズ 著

新潮社

1930 年代末、アメリカ南部の町に聾啞の男が現れた。大不況、経済格差、黒人差別…。カフェに集う人々の苦しみを、その男だけがいつも静かに受け止めてくれて。南部ゴシック文学を代表する名作を村上春樹が新訳。

2020.8./ 398p

978-4-10-507181-3

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2020/11/25



金子みすゞの童謡を読む～西條八十と北原白秋の受容と展開～

ナーヘド・アルメリ 著

港の人

童謡という新たな文学領域を切り拓いた二つの巨星、西條八十と北原白秋の作品世界を、金子みすゞはどのように受容し、どのように展開して独自の作品世界を創り出していたのか、詳細に作品分析をおこなう。

2020.11./ 235p

978-4-89629-381-4

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/11/25



リーディングス戦後日本の思想水脈<2> 科学技術をめぐる抗争

塚原 東吾 編

岩波書店

現代に生きる思想資源を探訪するアンソロジー。2 は、「原爆のインパクト」から 3・11 に至るまで、科学技術に与えられた思想的な位置づけについての見取り図を打ち出し、戦後の科学技術をめぐる思想を概観する 21 篇を収録。

朝日新聞 2020/11/28

2016:7./ 9p,301p

978-4-00-027034-2

本体 ¥4,800+税



「犠牲区域」のアメリカ 核開発と先住民族

石山 徳子 著

岩波書店

先住民族の土地や生活空間は、いかにしてアメリカから消し去られ、核開発の犠牲区域に組み込まれたのか。彼らの存在を不可視化してきた収奪と差別の歴史を、入植植民地主義による支配の構造と捉え、粘り強い抵抗の歩みを描く。

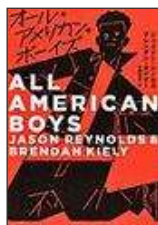
朝日新聞 2020/11/28

2020:9./

12p,249p,35p

978-4-00-061422-1

本体 ¥3,500+税



オール★アメリカン★ボーイズ

ジェイソン・レノルズ/ブレンダン・カイリー 著

偕成社

黒人少年を暴行する白人警官の動画が拡散し、若者たちは抗議のデモを計画し…。黒人作家レノルズが被害者の黒人少年の視点から、白人作家カイリーが目撃者の白人少年の視点から、アメリカの今を描き出す。

朝日新聞 2020/11/28

2020:11./ 361p

978-4-03-726980-7

本体 ¥1,500+税



短歌ください<明日でイエスは 2010 才篇>(角川文庫 ほ 21-4)

穂村 弘 著

KADOKAWA

同性、数字、パニック、風呂、電化製品…。『ダ・ヴィンチ』の読者投稿コーナーに寄せられた短歌から、人気歌人・穂村弘がテーマごとに傑作を選出。それぞれの短歌に鮮やかな講評を付す。

朝日新聞 2020/11/28

2020:9./ 264p

978-4-04-102645-8

本体 ¥680+税



半沢直樹<1> オレたちバブル入行組(講談社文庫 い 85-15)

池井戸 潤 著

講談社

大阪西支店融資課長を務める半沢直樹。ある時、支店長命令により 5 億円もの融資を行った会社があえなく倒産した。責任をすべて半沢に押し付け、醜い保身に走る上司を横目に、半沢は巨額の債権を回収するすべを探り…。

朝日新聞 2020/11/28

2019:11./ 396p

978-4-06-517082-3

本体 ¥780+税



半沢直樹 アルルカンと道化師([半沢直樹])

池井戸 潤 著

講談社

東京中央銀行大阪西支店の融資課長・半沢直樹のもとに、大手 IT 企業が業績低迷中の美術系出版社を買収したいという案件が持ち込まれる。半沢は大阪営業本部の強引な買収工作に抵抗するが、背後にひそむ秘密の存在に気づき…。

朝日新聞 2020/11/28

2020:9./ 344p

978-4-06-519016-6

本体 ¥1,600+税





「民都」大阪対「帝都」東京～思想としての関西私鉄～(講談社学術文庫 2631)

原 武史 著

講談社

東京をも凌駕した、「民衆の都」大阪。だが、大正から昭和への転換、昭和天皇行幸を機に、大阪の街は次第に「帝都」へと変質してゆく…。鉄道と天皇という視座から日本近代の思想史的断面を描く。

朝日新聞 2020/11/28

2020.10./ 305p

978-4-06-521274-5

本体 ¥1,210+税



下町ロケット<4> ヤタガラス

池井戸 潤 著

小学館

トランスミッション開発に乗り出した佃製作所。ギアゴーストやライバルメーカー・ダイダロスとの戦い、帝国重工の財前が立ち上げた新たなプロジェクト…。準天頂衛星「ヤタガラス」が導く、壮大な物語の結末とは？

朝日新聞 2020/11/28

2018.9./ 373p

978-4-09-386523-4

本体 ¥1,500+税



フィッシュ・アンド・チップスの歴史～英国の食と移民～(創元世界史ライブラリー)

パニコス・パナイー 著

創元社

19世紀英国に誕生し、労働者階級に普及したフィッシュ・アンド・チップス。店舗経営者には移民が多く、その出身地はイタリア、キプロス、中国と多岐にわたった。英国の「国民食」の形成と移民の関係を歴史家が解き明かす。

朝日新聞 2020/11/28

2020.9./ 237p

978-4-422-20343-0

本体 ¥2,400+税



ウンコはどこから来て、どこへ行くのか～人糞地理学ことはじめ～(ちくま新書 1523)

湯澤 規子 著

筑摩書房

身近な存在でありながら、流せば忘れられてしまうウンコ。過去には農業の肥料として重宝されたり、反対に伝染病の元として忌避されたりした。ウンコの視点から環境、経済、世界を見渡し、人とウンコの関係世界を考察する。

朝日新聞 2020/11/28

2020.10./ 247p

978-4-480-07330-3

本体 ¥840+税



雪山のエンジェル

ローレン・セントジョン 著

評論社

山岳ガイドの父と山に登ることが大好きだったマケナ。なのに、突然、両親は感染症のため帰らぬ人に。危機が迫るたび、マケナの前に、銀色のキツネがあらわれ…。

朝日新聞 2020/11/28

2020.10./ 251p

978-4-566-02471-7

本体 ¥1,400+税



しあわせなときの地図

フラン・ヌニョ 著

ほるぷ出版

生まれてからずっと、この町で暮らしてきたソエ。でも戦争のせいで、家族と逃げなければなりません。町を出る前の晩、ソエはつくえに地図をひろげて、楽しいことがあった場所にしるしをつけてみました。すると…。

朝日新聞 2020/11/28

2020.10./ [26p]

978-4-593-10064-4

本体 ¥1,400+税





鉄道制服図鑑～制服鉄の世界～(旅鉄 BOOKS 032)

「旅と鉄道」編集部 編

山と溪谷社

鉄道マンの誇りであり、その象徴である鉄道制服。北海道から九州まで各鉄道会社の制服をカラー写真で紹介し、そのポイントや特徴を解説する。アテンダントの制服も掲載。

朝日新聞 2020/11/28

2020.11./ 175p

978-4-635-82249-7

本体 ¥1,800+税



【オンデマンド版】天皇機関説事件～史料は語る～<上>

有斐閣

朝日新聞 2020/11/28

2003.2.

978-4-641-90285-5

本体 ¥6,300+税



【オンデマンド】天皇機関説事件～史料は語る～<下>

有斐閣

朝日新聞 2020/11/28

2003.2.

978-4-641-90286-2

本体 ¥5,600+税



暗い時代の人々

森 まゆみ 著

亜紀書房

斎藤隆夫、竹久夢二、山川菊栄…。最も精神の抑圧された、1930～45 年の「暗い時代」に、「精神の自由」を掲げて戦った9人の生の軌跡を、評伝の名手が描き出す。ウェブマガジン『あき地』連載に加筆し書籍化。

朝日新聞 2020/11/28

2017.4./ 294p

978-4-7505-1499-4

本体 ¥1,700+税



諏訪式。

小倉 美恵子 著

亜紀書房

諏訪湖を中心に八ヶ岳や霧ヶ峰も含む広大な地域、長野県・諏訪。縄文遺跡、明治の片倉製糸、昭和の精密機械など、多くの仕事や人が、どうしてこの土地から生まれたのか？ 諏訪の地力を丹念な取材で掘り起こす。

朝日新聞 2020/11/28

2020.9./ 262p

978-4-7505-1665-3

本体 ¥1,800+税



フーコーの風向き～近代国家の系譜学～

重田 園江 著

青土社

人びとの生や死に巧みに介入し、思考を知らぬ間に取り囲む近代国家の権力の所作を、フーコーはいかに描き出したのか。主要な諸概念を手がかりに、歴史や論理に深く分け入り、時代の逆風に立ち向かった思想家の軌跡を追う。

朝日新聞 2020/11/28

2020.8./ 391p,30p

978-4-7917-7303-9

本体 ¥3,200+税





見えないスポーツ図鑑

伊藤 亜紗／渡邊 淳司／林 阿希子 著
晶文社

「視覚障害者にスポーツの臨場感をどう伝えるか」から始まった研究は、スポーツを“翻訳”することに向かった。アスリートの感覚や競技のエッセンスを、日用品を使った動作に“翻訳”するプロジェクトの成果を紹介する。

2020.10./ 307p
978-4-7949-7192-0
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/11/28



まどのむこうのくだものなにあに?(こどものとも絵本)

荒井真紀 著
福音館書店

イチゴのつぶつぶ、メロンの編み目、スイカのしましま、パイナップルのでこぼこ…。ページにあいたまどのむこうに、拡大されたくだものが。一部、全体、断面など、見方を変えて新たな発見をする絵本。

2020.10./ 30p
978-4-8340-8568-6
本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2020/11/28



甘いバナナの苦い現実

石井正子 著
コモンズ

私たち日本人の身近にある果物バナナはなぜ安いのか? 主な輸入先のフィリピン・ミンダナオ島では農薬の空中散布による健康被害が目立つ。栽培・流通の知られざる現状を詳細に調査し、エシカルな消費の在り方を問いかける。

2020.8./ 385p
978-4-86187-167-2
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2020/11/28



フランスの小さな村を旅してみよう(かもめの本棚)

木蓮 著
東海教育研究所

年間 150 カ所以上の小さな村を訪れているフランス在住の人気ブロガーが、特に心に残る 55 の「とっておきの小さな村」を厳選。フランス全土 13 地方を、みずみずしい視点で切り取ったオールカラーの写真とともに紹介する。

2020.9./ 191p
978-4-924523-10-4
本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2020/11/28



愛と性と存在のはなし(NHK 出版新書 640)

赤坂 真理 著
NHK出版

私たちは自らの“性”を本当に自覚しているのだろうか? 「セクシュアル・マイノリティ」「LGBT」「草食男子」など、既存の用語では決してすくいきれない人間存在の姿を、著者自身の生の探求を通して描き出す。

2020.11./ 247p
978-4-14-088640-3
本体 ¥850+税



朝日新聞 2020/11/28、読売新聞 2020/11/29



未来哲学<創刊号(2020 年後期)>

末本文美士、山内志朗、中島隆博 著
ぶねうま舎

未来哲学研究所による思想誌。創刊号は、2020 年 8 月にオンラインで開催した創立記念シンポジウムをもとにした「未来哲学とは何か」を特集するほか、「仏教認識論の射程」など論考 5 編、コラム、書評と対話を収録。

2020.11./ 258p
978-4-910154-11-4
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/11/28、読売新聞 2020/11/29



金子兜太の<現在>～定住漂泊～

齋藤慎爾 編

春陽堂書店

戦後の俳壇界において常に先頭に立って戦い続けた金子兜太。一茶や故郷の俳人たち、秩父の風土に対峙するなど、常に新しい俳句への意欲を燃やし続けた彼の全容を、著名人たちとの数々の対談、評論、晩年の俳句などで著す。

朝日新聞 2020/11/29

2020/10./ 350p

978-4-394-90372-7

本体 ¥2,500+税



芭蕉を受け継ぐ現代俳人たち～季語と取合せの文化～

堀切 実 著

ペリカン社

「季語」と「切字」、「取合せ」など、芭蕉の革新がもたらした俳句表現の本質を受け継ぐ現代俳人たち。大野林火・西東三鬼らの俳句と生き様を読み解く。著者の研究姿勢を総括する評論集。『俳句』『汀』掲載に加筆し単行本化。

朝日新聞 2020/11/29

2020/10./ 382p

978-4-8315-1573-5

本体 ¥3,500+税



サバイバル家族

服部 文祥 著

中央公論新社

長男の受験失敗、次男ニート化もなんのその。妻は大ネズミの唐揚げ弁当を作り、娘は可愛がったニワトリを絞めて食べ…。都会の一家 5 人が狩る、飼う、捌くの原始生活! サバイバル登山家と型にはまらぬ家族たちの日常を綴る。

東京・中日新聞 2020/11/01

2020/9./ 242p

978-4-12-005336-8

本体 ¥1,650+税



アリスに驚け(アリス狩り 6)

高山 宏 著

青土社

絵も会話もない本なんて何になるの? アリスの素朴な疑問がヴィクトリア朝社会を<驚異>弾ける魔術の帝国へと変貌させる。綺想に彩られた「アリス」物語の破天荒の可能性を大胆に切り拓く。『ユリイカ』等掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2020/11/01

2020/9./ 372p

978-4-7917-7254-4

本体 ¥2,600+税



そんなふう

川内 倫子 著

ナナログ社

子どもと一緒にいると、すれ違う人によく笑いかけられる。初めて会った、ただすれ違った他人と距離がぐっと縮まり、ふわりとあたたかい空気が流れる…。写真家による、出産と育児の記録。『Fasu』ほか掲載を加筆し書籍化。

東京・中日新聞 2020/11/01

2020/10./ 221p

978-4-904292-98-3

本体 ¥2,300+税



ジョン・ボルトン回顧録～トランプ大統領との 453 日～

ジョン・ボルトン 著

朝日新聞出版

イラン核合意からの離脱、ホワイトハウスの混乱、中国との関係…。トランプ政権の国家安全保障担当大統領補佐官を務めたジョン・ボルトンが、政権の内幕から国際外交の舞台裏までを明らかにする。池上彰の解説も収録。

東京・中日新聞 2020/11/01、日本経済新聞 2020/11/14

2020/10./ 552p,29p

978-4-02-251717-3

本体 ¥2,700+税





八月の銀の雪

伊与原 新 著
新潮社

コンビニのベトナム人店員が就活連敗中の理系大学生に見せた驚きの姿、シングルマザーが聞いた深海の話、原発の下請け会社を辞めて一人旅する男…。科学の揺るぎない真実が人知れず傷ついた心を救う5篇の物語を収録する。

2020:10./ 253p
978-4-10-336213-5
本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2020/11/01、毎日新聞 2020/11/07



近代日本の音楽百年～黒船から終戦まで～<第1巻> 洋楽の衝撃

細川 周平 著
岩波書店

日本の音楽の「近代」を空前の規模で俯瞰する著者のライフワーク。第1巻では、軍楽隊の導入とその民間への広がり、学校唱歌から壮士演歌までの流れを詳細に叙述する。

2020:9./ 16p,375p,6p
978-4-00-027226-1



東京・中日新聞 2020/11/08



苦しい時は電話して(講談社現代新書 2581)

坂口 恭平 著
講談社

死にたいほどつらい時、人は何をしたらよいのか? 躁鬱病を患う著者が、「死にたい人」からの電話を10年受け続けてわかったことを綴るとともに、死にたいと感じたときの対処の仕方を考える。

2020:8./ 206p
978-4-06-520776-5
本体 ¥800+税



東京・中日新聞 2020/11/08



民衆暴力～一揆・暴動・虐殺の日本近代～(中公新書 2605)

藤野 裕子 著
中央公論新社

新政反対一揆、秩父事件、日比谷焼き打ち事件、関東大震災時の朝鮮人虐殺…。何が人びとを駆り立てたのか。単純には捉えられない民衆暴力を通し、近代化以降の日本の軌跡とともに国家の権力や統治のあり方を照らし出す。

2020:8./ 6p,220p
978-4-12-102605-7
本体 ¥820+税



東京・中日新聞 2020/11/08



ぼくは縄文大工～石斧でつくる丸木舟と小屋～(平凡社新書 955)

雨宮 国広 著
平凡社

主に石斧を使って丸木舟や小屋をつくる「縄文大工」。豊富な写真とともに、石斧や黒曜石などの太古の道具でもものづくりをすることの面白さを紹介。「縄文暮らし」を実践しながら、原始を生きた人の姿を探る。

2020:9./ 223p
978-4-582-85955-3
本体 ¥860+税



東京・中日新聞 2020/11/08



三島由紀夫事件 50 年目の証言～警察と自衛隊は何を知っていたか～

西 法太郎 著
新潮社

昭和45年11月25日、三島由紀夫事件の日。そこで何が起こっていたのか。公安は察知していたのか。生き残った楯の会隊員は何を語ったのか。非公開だった裁判資料や、関係者への取材から、半世紀を経て今なお深い謎に迫る。

2020:9./ 301p
978-4-10-353581-2
本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2020/11/15



孔丘

宮城谷 昌光 著
文藝春秋

母の死、息子との対立、老境の旅路…。『論語』に描かれる神格化された姿ではなく、不運や失意にも苛まれた人間・孔子の波瀾万丈を書いた大河小説。『文藝春秋』『オール讀物』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2020/11/15

2020/10./ 578p
978-4-16-391270-7
本体 ¥2,000+税



日本におけるコミュニタリアニズムと宇野理論～土着社会主義の水脈を求めて～(ダルム舎叢書 4)

大内 秀明 著
社会評論社

晩期マルクスによる「共同体社会主義」の思想がいま甦る。W・モリス、E・B・バックス、そして日本の労農派社会主義者と宇野弘蔵との接点を検証し、コミュニタリアニズムの水脈を探る。

東京・中日新聞 2020/11/15

2020/7./ 214p
978-4-7845-1370-3
本体 ¥2,300+税



人財島(角川文庫 ね 3-1)

根本 聡一郎 著
KADOKAWA

大手人材派遣会社の新入社員・北原は「人財島」なる研修施設へ出向を命じられる。そこは生産性の高さによって人々を区別する悪辣な島だった。与えられたのは炎天下での過酷な肉体労働。北原は脱出の計画を立てるが…。

東京・中日新聞 2020/11/21

2020/9./ 418p
978-4-04-109138-8
本体 ¥820+税



デジタル化する新興国～先進国を超えるか、監視社会の到来か～(中公新書 2612)

伊藤 亜聖 著
中央公論新社

中国、インド、東南アジア、アフリカ諸国は、今や最先端技術の実験場と化している。決済サービスなどのスーパーアプリでは先進国を凌駕する一方、負の側面も懸念される。技術が増幅する新興国の可能性とリスクを明らかにする。

東京・中日新聞 2020/11/21、日本経済新聞 2020/11/21、毎日新聞 2020/11/21

2020/10./ 246p
978-4-12-102612-5
本体 ¥820+税



苦海・浄土・日本～石牟礼道子もだえ神の精神～(集英社新書 1040)

田中 優子 著
集英社

水俣病犠牲者たちの苦悶、心象風景と医療カルテなどの記録を織りなして描き、日本社会に深い衝撃を与えた石牟礼道子の「苦海浄土」。石牟礼本人との対談、考察を通し、世界的文学者の思想に迫る、評伝的文明批評。

東京・中日新聞 2020/11/22

2020/10./ 266p
978-4-08-721140-5
本体 ¥880+税



緊急提言 パンデミック～寄稿とインタビュー～

ユヴァル・ノア・ハラリ 著
河出書房新社

本当は何が起きているのか、コロナ後をいかに生きるべきか。新型コロナウイルス感染症のパンデミックという世界的危機の中で、知の巨人が発したメッセージ。英米の有力紙への寄稿とNHKで放送されたインタビューをまとめる。

東京・中日新聞 2020/11/22

2020/10./ 125p
978-4-309-22810-5
本体 ¥1,300+税





ヨーロッパ各地で大当たり 剣劇王筒井徳二郎

田中 徳一 著
勉誠出版

1930～31 年に、カブキと剣劇をレパートリーに欧米 22 カ国 60 都市を巡業して反響を呼び、「世界の剣劇王」とまで称された筒井徳二郎。名だたる前衛演出家たちに絶賛され、観客を魅了した、その足跡をたどる。

東京・中日新聞 2020/11/22

2020/8./ 7p,287p
978-4-585-27057-7
本体 ¥2,000+税



可能なるアナキズム～マルセル・モースと贈与のモラル～

山田広昭 著
インスクリプト

孤立を求めて連帯を怖れず。権力なき共生は可能か。マルセル・モース「贈与論」から交換形態の普遍的原理を取り出し、アナキズム理論の欠落を埋めて変革への道筋を描き出す。

東京・中日新聞 2020/11/22

2020/9./ 269p
978-4-900997-77-6
本体 ¥3,400+税



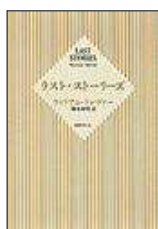
偏愛ムラタ美術館<展開篇>

村田 喜代子 著
徳間書店

鋭い感性が見透す絵画の奥の、奥の世界。“目利き”の小説家が、クリムト、北斎、藤田嗣治、つげ義春の妻・藤原マキといった個性派の作品や世界の名画を独自の視点で読み解く。図版も多数収録。『一枚の絵』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2020/11/28

2020/10./ 218p
978-4-19-865054-4
本体 ¥2,800+税



ラスト・ストーリーズ

ウィリアム・トレヴァー 著
国書刊行会

トレヴァー最後の短篇集。妻の死を受け入れられない男と未亡人暮らしを楽しもうとする女、それぞれの人生が交錯する「ミセス・クラスソープ」など、ストーリーテリングの妙味と人間観察の精細さが頂点に達した全 10 篇を収録。

東京・中日新聞 2020/11/28

2020/8./ 255p
978-4-336-07032-6
本体 ¥2,400+税



株式会社の世界史～「病理」と「戦争」の 500 年～

平川 克美 著
東洋経済新報社

コロナ禍による大恐慌は「株式会社」の終焉を招くのか？ 東インド会社を起源とする 500 年の歴史から、資本主義と国家と株式会社の未来を探る。著者による立教大学 MBA や早稲田大学での講義を書籍化。

東京・中日新聞 2020/11/29

2020/10./ 365p
978-4-492-31532-3
本体 ¥1,800+税



日本国憲法のお誕生～その受容の社会史～

江橋 崇 著
有斐閣

日本国憲法の誕生は急ごしらえの舞台上での一幕の乱舞劇であった。歴史のひだに隠されていた“もうひとつの憲法物語”を、制定記念グッズや祝賀行事、公式記録などの深読みを通してひも解く。『書斎の窓』連載を元に書籍化。

東京・中日新聞 2020/11/29

2020/11./ 6p,218p
978-4-641-22796-5
本体 ¥2,200+税





人間の土地へ

小松 由佳 著

集英社インターナショナル

世界第2位の高峰K2に日本人女性として初めて登頂した著者は、ラクダと共に生きるシリアの青年と出会う。2人を待ち受けていたのは、今世紀最悪の人道危機、内戦の勃発だった。シリア内戦を内側から描くノンフィクション。

東京・中日新聞 2020/11/29

2020/9./ 251p

978-4-7976-7389-0

本体 ¥2,000+税



灯台へ(岩波文庫)

ヴァージニア・ウルフ、御輿哲也 著

岩波書店

読売新聞 2020/11/01

2004/12./ 400p

978-4-00-322911-8

本体 ¥1,020+税



道教思想 10 講(岩波新書 新赤版 1848)

神塚 淑子 著

岩波書店

老子の「道」の思想を起点に、さまざまな思想・運動をとりこみながら形成された道教。その哲学と教理を、「気」の生命観、仏教との関わり、日本への影響などの論点からとらえる。丁寧なテキスト読解に基づく総合的入門書。

読売新聞 2020/11/01

2020/9./ 2p,222p,15p

978-4-00-431848-4

本体 ¥860+税



こころと身体心理学(岩波ジュニア新書 923)

山口 真美 著

岩波書店

身体とは、自分自身。体外離脱、鏡映描写実験…。顔や身体がどのように心と関係するかを実験的に調べる研究をしている著者が、痛みを恐れることなく身体を動かすこと、痛みを知ること、身体との付き合い方について伝える。

読売新聞 2020/11/01

2020/9./ 12p,221p

978-4-00-500923-7

本体 ¥880+税



うたの動物記(朝日文庫 こ 42-1)

小池光 著

朝日新聞出版

斎藤茂吉の馬、宮沢賢治のおおろぎ、谷川俊太郎のかっぱ…作者は生き物に心の風景を託した。詩歌に詠まれた動物をその生態、文化史とともに、現代の代表的歌人が縦横無尽にユーモラスに語った 105 編のコラムを集成。

読売新聞 2020/11/01

2020/10./ 230p,4p

978-4-02-262032-3

本体 ¥740+税



ヒトごろし<上> 文庫版(新潮文庫 き-31-3)

京極 夏彦 著

新潮社

血飛沫。焔に包まれる宿場町。土方歳三は少年時代より死に魅入られていた。長じて浪士組の一員として上洛する。佐幕、攘夷、そんなことに興味はない。刀を存分に振るえる身分が欲しいだけだ。歳三は人外、人殺しのだから。

読売新聞 2020/11/01

2020/10./ 783p

978-4-10-135354-8

本体 ¥1,100+税





ヒトごろし<下> 文庫版(新潮文庫 き-31-4)

京極 夏彦 著

新潮社

佐々木只三郎、山崎丞、歳三の周囲で蠢く男たち。彼らもまた闇の眷族であった。新選組は池田屋襲撃や無慈悲な粛清で京都を震撼させる。だが近代戦の中で存在意義を失い、土方歳三は北へと向かう。

読売新聞 2020/11/01

2020.10./ 798p

978-4-10-135355-5

本体 ¥1,100+税



日米交換船

鶴見 俊輔、加藤 典洋、黒川 創 著

新潮社

帰国から60余年、「交換船」は私にとって、封印された記憶だった。1942年6月、戦時下のNYと横浜から、対戦国に残された人々を故国に帰す「日米交換船」が出航。鶴見俊輔が初めて明かす、開戦前後と航海の日々。

読売新聞 2020/11/01

2006.3./ 483, 11p

978-4-10-301851-3

本体 ¥2,400+税



今も未来も変わらない〜婦人公論連載小説〜

長嶋 有 著

中央公論新社

星子は40代のシングルマザー。受験を控えた娘を見守り、親友とレジャーを満喫し、年下の男にときめいて…。娯楽も、ラブも、人生も、「大人が楽しむ」物語。『婦人公論』連載を改題、加筆して単行本化。

読売新聞 2020/11/01

2020.9./ 245p

978-4-12-005335-1

本体 ¥1,500+税



ストーンサークルの殺人(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 481-1)

M・W・クレイヴン 著

早川書房

英国のストーンサークルで続発する焼殺事件。被害者の体にはなぜか停職中の警察官ワシントン・ポーの名が刻みつけられていた。身に覚えのないポーは処分を解かれ、捜査に加わることに。しかし事件は思いがけない展開へ…。

読売新聞 2020/11/01

2020.9./ 582p

978-4-15-184251-1

本体 ¥1,180+税



ひとりぶんのキャンプごはん

緑川 真吾 著

大泉書店

少ない道具で作れる、ソロキャンプの料理を紹介。スーパーやコンビニで買える食材が中心のレシピから、家で下準備して現地で焼く or 煮るだけレシピ、焚き火を使った料理、スパイスおつまみレシピまでを収録する。

読売新聞 2020/11/01

2020.9./ 127p

978-4-278-04731-8

本体 ¥1,400+税



ルポ車上生活〜駐車場の片隅で〜(NHK スペシャル)

NHK スペシャル取材班 著

宝島社

車の中で長期にわたり暮らす人たち。彼らはなぜ“車中の人”となったのか。全国1160の「道の駅」に聞き取り調査を行い、駐車場の片隅で暮らす人たちの、貧困だけではない“漂流の理由”に迫る。NHK スペシャルを書籍化。

読売新聞 2020/11/01

2020.8./ 365p

978-4-299-00791-9

本体 ¥1,450+税





WEAK LINK～コロナが明らかにしたグローバル経済の悪夢のような脆さ～

竹森 俊平 著

日本経済新聞出版社

新型コロナウイルスは、世界の仕組みをどう変えるのか。経済発展に追いつかない中国の統治体制、バルカン化のリスク孕むアジア、米国の社会的分裂、科学への過剰な自信、EUの決断等、顕わになった世界経済の危機を活写する。

2020.10./ 282p

978-4-532-35868-6

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/11/01



イタリア料理大全～厨房の学とよい食の術～

ペッレグリーノ・アルトゥージ 著

平凡社

イタリアの家庭には必ず1冊あるといわれるロングセラーの料理本。イタリア各地に根づいたレシピを体系化し再評価。健康的で美味しいレシピ 790 を収録。著者が生前に監修した第15版を基に、初版本等を参考にした日本語版。

2020.7./ 717p

978-4-582-63222-4

本体 ¥8,800+税



読売新聞 2020/11/01



緑の政治理論(「緑の政治思想」の名著シリーズ 2)

ロバート・E・グッディン／松野 弘 著

ミネルヴァ書房

オーストラリアを代表する世界的な政治哲学者が、緑派の多様な考え方を批判的に再構築し、本来あるべき緑の政治綱領(プログラム)の姿を描く。緑の政治行動の原則も紹介。「環境政治思想」の古典ともいべきテキスト。

2020.10./ 12p,301p

978-4-623-08448-7

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2020/11/01



山登りでつくる感染症に強い体～新型コロナウイルスへの対処法～(ヤマケイ新書 YS053)

齋藤 繁 著

山と溪谷社

心肺機能・免疫力の強化、糖尿病予防…。マイナーな里山を歩くことは身体機能維持にはいいことづくめ! コロナ禍の医療現場で闘う著者が、山登りを楽しみながら抵抗力のある体をつくるコツや登山を活用した生活改善法を紹介。

2020.10./ 229p

978-4-635-51067-7

本体 ¥900+税



読売新聞 2020/11/01



アルコール・アノニマスの歴史～酒を手ばなした人びとをむすぶ～

アーネスト・カーツ 著

明石書店

断酒に取り組む自助グループ、アルコール・アノニマス「AA」の、1934年から1971年までの歴史と理念を紹介。その意味と意義を考察する。

2020.9./ 608p

978-4-7503-5076-9

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2020/11/01



華麗なる「パレエ・リュス」と舞台芸術の世界～ロシア・パレエとモダン・アート～

デザイナー:原条令子／海野弘 著

パイインターナショナル

ダンス、美術、音楽などの<総合芸術>として、芸術愛好家に愛された「パレエ・リュス(ロシア・パレエ団)」。その魅力と全貌を、源泉であるロシアの世紀末<銀の時代>から、多くの舞台・衣装デザイン画とともに紹介する。

2020.8./ 462p

978-4-7562-5195-4

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2020/11/01



モテないけど生きてます～苦悩する男たちの当事者研究～

ぼくらの非モテ研究会 著

青弓社

生きる困難や加害/被害の経験と真摯に向き合ってきた「非モテ」に悩む当事者たち。彼らが「女神」「ポジティブ妄想」「自爆型告白」などのキーワードを軸に、男性学やジェンダーの知見もふまえて自分自身の実態を掘り下げる。

読売新聞 2020/11/01

2020/9./ 290p

978-4-7872-3476-6

本体 ¥1,800+税



大学生生活、大丈夫?～家族が読む、大学生のメンタルヘルス講座～ (KUP 医学ライブラリ 2)

梶谷 康介 著

九州大学出版会

うつ病、摂食障害、薬物依存症...心のバランスを失いがちな若者のメンタルヘルス維持には家族の協力が不可欠。若者のメンタルヘルスの現状から予防と維持まで、「大学生の家族」に必要な知識を分かりやすく具体的に解説する。

読売新聞 2020/11/01

2020/9./ 227p

978-4-7985-0290-8

本体 ¥1,800+税



Rosa 横浜ローザ、25 年目の手紙

五大路子 著

有隣堂

伝説の老娼婦“ハマのメリーさん”をモデルにした五大路子の一人芝居「横浜ローザ」。メリーさんの声、ニューヨーク公演、十代への伝言...。「横浜ローザ」誕生の背景から四半世紀後の現在までを綴る。舞台写真・資料等も掲載。

読売新聞 2020/11/01

2020/10./ 157p

978-4-89660-233-3

本体 ¥1,500+税



つくられた格差～不公平税制が生んだ所得の不平等～

エマニュエル・サエズ/ガブリエル・ズックマン 著

光文社

富裕層はますます富み、中間層や貧困層はより貧しくなる真の理由とは? 格差が極端化するのを防ぐためには、新たな税制が必要。莫大な資産への課税や多国籍企業からの徴税など、改革を実現するための現実的な案を提示する。

読売新聞 2020/11/01、朝日新聞 2020/11/07、毎日新聞 2020/11/28

2020/9./ 297p

978-4-334-96243-2

本体 ¥2,200+税



くそじいとくそばあの日本史 (ポプラ新書 196)

大塚 ひかり 著

ポプラ社

100 歳過ぎまで政界に君臨した僧侶、柴田勝家の最期を記録したおばあさん、実はエロ爺だった一休さん...。食欲に、したたかに歴史を生き抜いた日本の老人たちを紹介。古典からパワフルな生き方の秘訣を読み解く。

読売新聞 2020/11/01、東京・中日新聞 2020/11/15、毎日新聞 2020/11/28

2020/10./ 233p

978-4-591-16763-2

本体 ¥860+税



網内人

陳 浩基 著

文藝春秋

ネットいじめを苦に女子中学生が自殺した。姉のアイはハイテク専門の探偵アニエの力を借りて、妹の死の真相に迫る。貧富の格差、ダークウェブ、復讐と贖罪...。いま現在の香港を描き切ったミステリー。

読売新聞 2020/11/01、日本経済新聞 2020/11/14

2020/9./ 542p

978-4-16-391261-5

本体 ¥2,300+税





脳から見るミュージアム〜アートは人を耕す〜(講談社現代新書 2592)

中野 信子／熊澤 弘 著

講談社

美術館・博物館に入れば、物の見方がガラリと変わり、3年後、10年後を生きる糧となる! 脳科学と博物館学の権威による、脳に効く対談。日本の面白い美術館、穴場である地方のミュージアムも多数紹介する。

読売新聞 2020/11/08

2020.10./ 222p

978-4-06-521440-4

本体 ¥860+税



ロリータ(新潮文庫 ナ-1-2)

ナボコフ 著

新潮社

「ロリータ、我が命の光、我が腰の炎。我が罪、我が魂。ロ・リー・タ。……」世界文学の最高傑作と呼ばれながら、ここまで誤解多き作品も数少ない。中年男の少女への倒錯した恋を描く恋愛小説であると同時に、ミステリでありロード・ノヴェルであり、今も論争が続く文学的謎を孕む至高の存在でもある。多様な読みを可能とする「真の古典」の、ときに爆笑を、ときに涙を誘う決定版新訳。注釈付。

読売新聞 2020/11/08

2006.11./ 623p

978-4-10-210502-3

本体 ¥950+税



サキの忘れ物

津村 記久子 著

新潮社

ある日、千春はアルバイト先の喫茶店で客が忘れていった一冊の本を手にする。それは千春がはじめて読み通した本となり…。たやすく日々を宿る僥倖のような、まなざしあたたかな短篇 9 編を収録。『文藝』ほか掲載を書籍化。

読売新聞 2020/11/08

2020.6./ 216p

978-4-10-331982-5

本体 ¥1,400+税



滅びの前のシャングリラ

風良 ゆう 著

中央公論新社

1ヶ月後、小惑星が衝突し、地球は滅びる。学校でいじめを受ける友樹、人を殺したヤクザの信士、恋人から逃げ出した静香。そして-。「人生をうまく生きられなかった」4人が最期の時までをどう過ごすのか。

読売新聞 2020/11/08

2020.10./ 330p

978-4-12-005340-5

本体 ¥1,550+税



ラファエロ〜ルネサンスの天才芸術家〜 カラー版(中公新書 2614)

深田 麻里亜 著

中央公論新社

37年の短い生涯にもかかわらず、聖母子画やローマ教皇らを描いた肖像画等の傑作を残した画家、ラファエロ。その生涯と作品をたどり、芸術家たちとの交流など、知られざる多面的な実像を明らかにする。カラー図版を多数掲載。

読売新聞 2020/11/08

2020.10./ 4p,211p

978-4-12-102614-9

本体 ¥1,000+税





あの日、ジュバは戦場だった～自衛隊南スーダン PKO 隊員の手記～

小山 修一 著

文藝春秋

2016年7月8日、国連の平和維持活動(PKO)のさなか、南スーダン・ジュバで激しい衝突が起きるが、市ケ谷では「日報」を廃棄し、戦闘を隠蔽した。あの時、何があったのか。元派遣隊員の手記から自衛隊の行動を伝える。

読売新聞 2020/11/08

2020.9./ 253p

978-4-16-391266-0

本体 ¥1,500+税



そして、パトンは渡された(文春文庫 せ 8-3)

瀬尾 まいこ 著

文藝春秋

血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった優子、17歳。父親が3人、母親が2人。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた。身近な人が愛おしくなる、優しい物語。

読売新聞 2020/11/08

2020.9./ 425p

978-4-16-791554-4

本体 ¥740+税



夢で逢えたら(文春文庫 よ 40-1)

吉川 トリコ 著

文藝春秋

女芸人の真亜子は、だれかれ構わず手当たり次第にかみつく芸風でブレイクし、女子アナの佐里香とともに新番組のメインに抜擢される。だが、佐里香が生放送である“事件”をやらかして…。『別冊文藝春秋』電子版連載を文庫化。

読売新聞 2020/11/08

2020.10./ 382p

978-4-16-791576-6

本体 ¥810+税



異なり記念日(シリーズケアをひらく)

齋藤 陽道 著

医学書院

「聞こえる家族」に生まれたろう者の僕と、「ろう家族」に生まれたろう者の妻。ふたりの間に、聞こえる子どもが授かった。見る、話す、触れることの<喜び>とともに。身体と文化を異にする3人の生活の記録。

読売新聞 2020/11/08

2018.7./ 231p

978-4-260-03629-0

本体 ¥2,000+税



ドーナツ経済学が世界を救う～人類と地球のためのパラダイムシフト～

ケイト・ラワース、黒輪 篤嗣 著

河出書房新社

従来の経済学では世界を救えない! 国内総生産(GDP)の成長に依存せずに、貧困問題や環境問題を解決しつつ、豊かで幸福な社会を構築するためには。21世紀の経済学者にふさわしい7つの思考法を提案する。

読売新聞 2020/11/08

2018.2./ 390p

978-4-309-24848-6

本体 ¥2,400+税



猫は神さまの贈り物<小説編>(実業之日本社文庫 ん 9-1)

星 新一／森 茉莉／吉行 理恵 著

実業之日本社

本好きと猫好きは何故か似ている。森茉莉、室生犀星、小松左京、宮沢賢治、星新一ら個性派作家たちによる、孤高を愛する人のための珠玉の“猫”小説集。

読売新聞 2020/11/08

2020.10./ 240p

978-4-408-55626-0

本体 ¥760+税





絵はがきにされた少年 新版

藤原 章生 著
柏艚舎

「暴力は風のように。雪のように来ない」被差別、貧困に満ちたアフリカ。しかしそこには、足ることを知る純朴な人々が生きている。砂塵のように儚い彼らの存在と言葉、生の軌跡を温かい目で掬い上げ、揺らがぬ視点で記す。

読売新聞 2020/11/08

2020.10./ 269p
978-4-434-28068-9
本体 ¥1,700+税



ひと・ひと・人〜井上ひさしベスト・エッセイ 続〜(ちくま文庫 い 20-18)

井上 ユリ 編
井上 ひさし 著
筑摩書房

井上ひさしのベスト・エッセイ第2弾。道元、宮沢賢治、ビリー・ワイルダー、渥美清...。尊敬し憧れ愛した人々、共に影響を与え合いながら仕事をした人々の人物像や作品を独特の視点からつづる。野田秀樹のエッセイ付き。

読売新聞 2020/11/08

2020.9./ 363p
978-4-480-43693-1
本体 ¥900+税



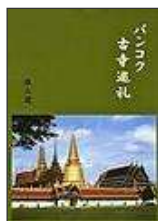
記憶翻訳者 いつか光になる(創元 SF 文庫 SF も 1-1)

門田 充宏 著
東京創元社

優秀な記憶翻訳者として様々な依頼人の記憶翻訳を手がける珊瑚は、人の記憶と関わることで自分自身の中にある埋められない欠落と向き合い...。「風牙」所収の2編に、書き下ろし2編を加えた連作短編集。

読売新聞 2020/11/08

2020.10./ 324p
978-4-488-78701-1
本体 ¥880+税



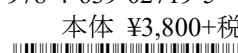
バンコク古寺巡礼

伊東 照司 著
雄山閣

バンコクの名刹八ヶ寺(王宮寺院、寢釈迦寺、暁の寺、ぶらんこの寺、大理石寺院、真珠貝の寺、黄金山寺、仏教大学の寺)を、来歴や特に関係が深い王族のエピソードを交えて紹介する。写真、図版も多数収録。

読売新聞 2020/11/08

2020.7./ 109p 図版
56p
978-4-639-02719-5
本体 ¥3,800+税



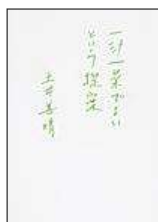
アナーキスト人類学のための断章

デヴィッド・グレーバー 著
以文社

怖れる必要はない、変革はゆっくりと、だが着実に進んでいる...。アナーキズム&人類学、この魅惑的な結合から編み出される、よりよき世界をつくるためのさまざまな術(アート)。真に変化しているものとはなにかを検証する。

読売新聞 2020/11/08

2006.11./ 197p
978-4-7531-0251-8
本体 ¥2,200+税



一汁一菜でよいという提案

土井 善晴 著
グラフィック社

一汁一菜とは「ご飯、味噌汁、漬物」を原点とする食事の型。料理研究家・土井善晴が、心地よい場所に帰ってくる生活のリズムをつくる柱となる、一汁一菜という日本人としての「生き方」を提案する。

読売新聞 2020/11/08

2016.10./ 190p
978-4-7661-2954-0
本体 ¥1,500+税





日本でもできる!英国の間取り

山田 佳世子 著
エクスナレッジ

歴史を重ねる家への誇りと愛情に満ちた住まい方を、イギリス人に徹底リサーチ。地域ごとの家の特徴、玄関廻りや照明の使い方といった魅せポイント、ライフスタイル別の住まい方を、イラストで紹介する。Q&A も収録。

読売新聞 2020/11/08

2020.10./ 183p
978-4-7678-2778-0
本体 ¥1,600+税



生と死を分ける数学〜人生の(ほぼ)すべてに数学が関係するわけ〜

キット・イエーツ 著
草思社

簡単な数学を少し使えるだけで、マスコミや政治家の嘘を見破ったり、詐欺に巻き込まれるのを防いだり、健康診断の結果を正しく理解できるようになる。数理生物学者が、数々の事例を紹介しながら、人生と数学の関係を解説する。

読売新聞 2020/11/08

2020.9./ 351p
978-4-7942-2470-5
本体 ¥2,200+税



ミュージアムを知ろう〜中高生からの美術館・博物館入門〜 (なるには BOOKS 別巻)

横山 佐紀 著
ぺりかん社

ミュージアムをより深く知ることで広がる、鑑賞だけではない新しい学び方、楽しみ方を伝える本。ミュージアムのはじまりや展示する空間、社会とのかかわりなどについて紹介する。

読売新聞 2020/11/08

2020.8./ 165p
978-4-8315-1566-7
本体 ¥1,600+税



鈴木清順論〜影なき声、声なき影〜

上島 春彦 著
作品社

伝説的映画監督、鈴木清順。未映画化脚本「夢殿」サイクル論から、重要キーワードを纏めて諸作品の横断的な読み解きを試みた「事典」、全監督作品の精緻な解説まで、多角的な視点で日本映画の異形の巨人の全体像を解き明かす。

読売新聞 2020/11/08、朝日新聞 2020/11/14

2020.9./ 691p
978-4-86182-824-9
本体 ¥10,000+税



音楽の危機〜《第九》が歌えなくなった日〜 (中公新書 2606)

岡田 暁生 著
中央公論新社

2020 年、世界的なコロナ禍でライブやコンサートが次々と中止になった。一方で、ストリーミングや録音メディアが「音楽の不在」を覆い隠した。文化の終焉か、変化の契機か。「集えない世界」における音楽のゆくえを探る。

読売新聞 2020/11/08、日本経済新聞 2020/11/14

2020.9./ 5p,235p
978-4-12-102606-4
本体 ¥820+税



誓願

マーガレット・アトウッド 著
早川書房

ギレアデ共和国を操る権力を持つリディア、司令官の娘・アグネス、両親が何者かに爆殺されたダイジー。まったく異なる人生を歩んできた 3 人が出会うとき、ギレアデの命運が大きく動き始める。「侍女の物語」続篇。

読売新聞 2020/11/08、日本経済新聞 2020/11/14

2020.10./ 599p
978-4-15-209970-9
本体 ¥2,900+税





世界の「住所」の物語～通りに刻まれた起源・政治・人種・階層の歴史～

ディアドラ・マスケ 著

原書房

社会の近代化をはたすための条件である「住所」。「どこに住んでいるかわかること」は何をもたらしたのか。住所にまつわる歴史と権力、人種、アイデンティティの問題を、文献と取材から描く。

2020/9./ 357p,26p

978-4-562-05791-7

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2020/11/08、日本経済新聞 2020/11/14



江之浦奇譚

杉本 博司 著

岩波書店

小田原・江之浦山中に、突如現れる「江之浦測候所」。数奇を凝らした一大アート施設は、どのような因縁で今の姿を留めるようになったのか。この地に引き寄せられたモノたちの因縁話を、歌、写真とともに綴る。

2020/10./ 11p,281p

978-4-00-022307-2

本体 ¥2,900+税



読売新聞 2020/11/15



失われた時を求めて<1> スワン家のほうへ(1)(岩波文庫 赤版)

プルースト 著

岩波書店

ひとかけらのマドレーヌを口にしたとたん襲われる戦慄。「この歓びは、どこからやって来たのだろうか?」日本の水中花のように芯ひらく思い出ーサンザシの香り、鐘の音、コンプレーでの幼い日々。プルースト研究で仏アカデミー学術大賞受賞の第一人者が精確清新な訳文でいざなう、重層する世界の深み。当時の図版を多数収録。

2010/11./ 463p,4p

978-4-00-375109-1

本体 ¥900+税



読売新聞 2020/11/15



岡本太郎の見た日本(岩波現代文庫 学術 425)

赤坂 憲雄 著

岩波書店

没後、あらためて再評価が巻き起こりつつある岡本太郎。その多様な活動のうち、「縄文土器の発見」から東北、沖縄へと展開されていった独自の日本文化再発見の道行きを、気鋭の民俗学者が鮮やかに読み解く。

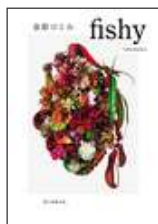
2020/10./ 5p,463p

978-4-00-600425-5

本体 ¥1,740+税



読売新聞 2020/11/15



fishy

金原ひとみ 著

朝日新聞出版

美玖たち 3 人は、互いのプライベートに踏み込まない「ともだち」。彼女たちが抱える虚無は、仕事でもプライベートでも、それぞれに深く…。女性の生きづらさと新たな連帯のかたちを描く。『小説トリッパー』掲載を単行本化。

2020/9./ 268p

978-4-02-251713-5

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/11/15



滑走路～歌集～(角川文庫 は 64-1)

萩原 慎一郎 著

KADOKAWA

非正規という受け入れがたき現状を受け入れながら生きているのだ いじめ、非正規雇用、恋…。32 歳という若さで命を絶った著者の唯一の歌集。若い世代が抱える不安や葛藤、希望を求める姿を詠う。

2020/9./ 167p

978-4-04-109612-3

本体 ¥580+税



読売新聞 2020/11/15



大相撲史入門(角川ソフィア文庫 II57-1)

池田 雅雄 著

KADOKAWA

土俵はいつから円形に？横綱の“綱”は何を指す？神事相撲から現代までの栄枯盛衰や、雷電・梅ヶ谷・陣幕ほか名力士たちの事績など、日本の国技の全てを明らかにする。著者 50 年に亘る相撲史研究の粋を集めた入門書。

2020/9./ 433p

978-4-04-400593-1

本体 ¥1,280+税



読売新聞 2020/11/15



高倉健〜隠し続けた七つの顔と「謎の養女」〜(講談社文庫 も 57-1)

森 功 著

講談社

善光寺参りを欠かさない信仰心の原点となった先祖との出会い、放蕩の大学生活の末にたどり着いた俳優の道、江利チエミに注いだ愛情と別離の苦悩…。高倉健には知られざる七つの顔がある。名声と富を極めた名優の実像に迫る。

2020/10./ 317p

978-4-06-521141-0

本体 ¥660+税



読売新聞 2020/11/15



俺、つしま<3>

おふうの きょうだい 著

小学館

元野良猫のつしまが繰り広げる飼い主「おじいちゃん」との爆笑の日常、つしまの友達である野良猫軍団「やさぐれ会」のエピソードなどを収録した、ツイッター発の猫漫画、第3弾。名場面シール付き。

2020/10./ 189p

978-4-09-388791-5

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2020/11/15



「生きるに値しない命」とは誰のことか〜ナチス安楽死思想の原典からの考察〜 新版(中公選書 111)

森下 直貴／佐野 誠 著

中央公論新社

「役に立つ/立たない」だけで命を選別できるのか。ナチス安楽死政策を理論的に支えた文献「生きるに値しない命を終わらせる行為の解禁」の全訳に解説と批判的考察を加え、超高齢社会の「生」と「死」を考える。

2020/9./ 10p,227p

978-4-12-110111-2

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/11/15



山へようこそ〜山小屋に爪楊枝はない〜(中公新書ラクレ 702)

石丸 謙二郎 著

中央公論新社

50 年近く山登りに親しんできた著者が、道具の選び方や山小屋でのマナー、おすめのストレッチ法や、大自然との触れ合い方、一歩上の山の楽しみ方を紹介。「山小屋に爪楊枝がないのはなぜ?」といった疑問にも答える。

2020/10./ 213p

978-4-12-150702-0

本体 ¥840+税



読売新聞 2020/11/15



古事記(池澤夏樹＝個人編集 日本文学全集 第1巻)

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。01 は、世界の創成と、神々の誕生から国の形ができるまでを描いた、神話と歌謡と系譜からなる錯綜のテキスト、池澤夏樹訳「古事記」を収録。詳細な注釈付き。

2014/11./ 402p

978-4-309-72871-1

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/11/15



本のリストの本

南陀楼 綾繁／書物蔵／鈴木 潤／林 哲夫／正木 香子 著

創元社

名曲喫茶に積まれていた本、記憶の中の父の本棚、獄中で読む本…。本を愛する 5 人の著者が、さまざまな時代、さまざまな場所に存在した「本のリスト」を、歴史や雑学や個人的な体験と共に紹介する。

2020.8./ 287p,16p

978-4-422-93086-2

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2020/11/15



スポーツを変えたテクノロジー〜アスリートを進化させる道具の科学〜

スティーヴ・ヘイク／浅井 武 著

白揚社

革新的な技術や素材は競技をどう変えたのか？ 古代ギリシャの陸上競技から現代の球技や水泳まで。スポーツ工学の第一人者がスポーツの歴史を振り返り、スポーツに突破口をもたらしたテクノロジーの激動のストーリーを伝える。

2020.9./ 390p

978-4-8269-0219-9

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2020/11/15



潜水士の道〜五人の師匠から海の未来へ〜

鉄 芳松 著

マガジンランド

これまでの人生で潜水した数 2 万回。「潜水界の怪物」「世界のプラチナ潜水士」の異名をとる著者が、「一期一会」の言葉のもとに、自身の師匠たちについて語る。畠山重篤(牡蠣養殖業・エッセイスト)との対談も収録。

2020.7./ 333p

978-4-86546-262-3

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/11/15



つながりと流れがよくわかる西洋音楽の歴史

岸本 宏子／酒巻 和子／小畑 恒夫／石川 亮子／有田 栄 著

アルテスパブリッシング

クラシック音楽はどこから来て、どこへ向かうのか？ 神の音楽から、人の音楽、そして世界音楽の時代へ…。西洋音楽の歴史を、基本的なバックグラウンドを含めて解説する。面白かわいいイラストも満載。

2020.10./ 246p,12p

978-4-86559-227-6

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2020/11/15



標本バカ

川田 伸一郎 著

ブックマン社

標本は生き物について多くのことを学ぶ機会を与えてくれる。国立科学博物館のモグラ博士が、死体集めと標本作製に勤しむ破天荒な日々をライトなタッチで綴る。雑誌『ソトコト』連載を加筆・修正。

2020.9./ 335p

978-4-89308-934-2

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2020/11/15



柄谷行人発言集<対話篇>

柄谷 行人 著

読書人

評論家・柄谷行人の発言集。入江隆則、秋山駿から、三好行雄、石原慎太郎、横尾忠則、苅部直まで、柄谷行人の著書に未収録の対談を、初出誌・紙を底本として、年代順に収録する。事項・文献・人名索引付き。

2020.11./ 935p

978-4-924671-45-4

本体 ¥7,800+税



読売新聞 2020/11/15



若人よ蘇れ・黒蜥蜴～他一篇～(岩波文庫 31-219-2)

三島 由紀夫 著
岩波書店

三島文学の本質は、劇作にこそ発揮されている。「若人よ蘇れ」「黒蜥蜴」「喜びの琴」の3篇を収録。三島戯曲の放つ鮮烈な魅力を味わう一冊。佐藤秀明による解説付き。

2018.11./ 408p
978-4-00-312192-4
本体 ¥910+税



読売新聞 2020/11/22



性からよむ江戸時代～生活の現場から～(岩波新書 新赤版 1844)

沢山 美果子 著
岩波書店

生まれた子は自分の子ではないと言い張る夫と妻の争い、難産に立ち合った医者 of 診療記録にみる妊婦の声…。史料の丹念な読み込みから、江戸時代に生きた女と男の性の日常と、その背後にある「家」意識、藩や幕府の政策に迫る。

2020.8./ 8p,190p
978-4-00-431844-6
本体 ¥820+税



読売新聞 2020/11/22



あっち側の彼女、こっち側の私～性的虐待、非行、薬物、そして少年院をへて～

小坂綾子 結生 著
朝日新聞出版

取材対象者と新聞記者として出会った結生と小坂綾子は、結生の人生を振り返る作業を始める。性的虐待、援助交際、薬物など重い過去を引きずりながらも前に進む結生の姿を通じて、「人が育つこと」「生きること」を問い直す。

2020.10./ 223p
978-4-02-251720-3
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2020/11/22



認知バイアス～心に潜むふしぎな働き～(ブルーバックス B-2152)

鈴木 宏昭 著
講談社

見ているはずのものが見えていない。確かだと思っている記憶が違っている…。誰もがよく感じる、このような認知のずれは、なぜ起こるのか。「認知バイアス」のメカニズムを、身近な事例を挙げながら詳しく解説。

2020.10./ 262p
978-4-06-521951-5
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2020/11/22



存在の耐えられない軽さ(集英社文庫)

ミラン・クンデラ、千野 栄一 著
集英社

読売新聞 2020/11/22

1998.11./ 399p
978-4-08-760351-4
本体 ¥820+税



海の怪

鈴木 光司 著
集英社

船でのテレビ撮影中に現れたのは、落水して亡くなったはずの初老の男だった…。海の仲間や知人から聞いた怖い話、不思議な話。日本ホラー界の重鎮が語る、海をめぐる怪談集。『よみタイ』連載を加筆修正。

2020.9./ 213p
978-4-08-788040-3
本体 ¥1,200+税



読売新聞 2020/11/22



美しい星 改版(新潮文庫)

三島 由紀夫 著

新潮社

読売新聞 2020/11/22

2003:9./ 370p

978-4-10-105013-3

本体 ¥670+税



潮騒 新版(新潮文庫 み-3-7)

三島 由紀夫 著

新潮社

古代の伝説が息づく伊勢湾の小島で、逞しく日焼けした海の若者新治は、目もとの涼しげな少女初江に出会う。嵐の日、島の廃墟で二人きりになるのだが…。みずみずしい肉体と恋の行方は？

2020:11./ 226p

978-4-10-105044-7

本体 ¥520+税



読売新聞 2020/11/22



金閣寺 新版(新潮文庫 み-3-8)

三島 由紀夫 著

新潮社

吃音と醜い外貌に悩む学僧・溝口にとって、金閣は世界を超脱した美そのものだった。ならばなぜ、彼は憧れを焼いたのか？ 金閣放火事件に材を取り、31歳の三島由紀夫が自らの内面全てを託した不朽の名作。

2020:11./ 383p

978-4-10-105045-4

本体 ¥670+税



読売新聞 2020/11/22



午後の曳航 新版(新潮文庫 み-3-15)

三島 由紀夫 著

新潮社

母が航海士の竜二とまぐわう姿を目撃した登。竜二の、死すら厭わぬ船乗り精神と屈強な肉体に憧れる登にとって、彼が海を捨て、登の父となる生ぬるい未来は屈辱だった。登は、彼を英雄に戻すため、仲間と悪魔的計画を立て…。

2020:11./ 217p

978-4-10-105046-1

本体 ¥520+税



読売新聞 2020/11/22



高校生ワーキングプア～「見えない貧困」の真実～(新潮文庫 え-20-13)

NHKスペシャル取材班 著

新潮社

進学・就職だけでなく、生きていくために働く高校生たち。最新ファッションにスマートフォンを持ち、一見すると“普通”の彼らが直面する「見えない貧困」の実態を炙り出す。NHK スペシャル放送から生まれたルポルタージュ。

2020:11./ 254p

978-4-10-128383-8

本体 ¥550+税



読売新聞 2020/11/22



絶対に挫折しない日本史(新潮新書 876)

古市 憲寿 著

新潮社

思い切って固有名詞を減らしてしまい、流れを超俯瞰で捉えれば、日本史はここまでわかりやすくて面白くなる！ 歴史学者ではない著者だからこそ書けた、全く新しい日本史入門。

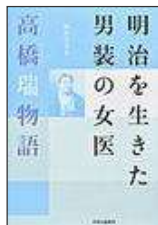
2020:9./ 313p

978-4-10-610876-1

本体 ¥880+税



読売新聞 2020/11/22



明治を生きる男装の女医～高橋瑞物語～

田中 ひかる 著

中央公論新社

女性が医師免許の試験を受けられなかった明治時代。その門戸をこじ開け、無償で妊産婦の命を救った女医がいた。苦難を乗り越えて、ドイツ留学も果たした高橋瑞の生涯を描く。

2020/7./ 230p

978-4-12-005320-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/11/22



三度目の恋

川上 弘美 著

中央公論新社

すべての女を虜にする男、ナーちゃんと結婚したわたし。夢のなかでは別の女として恋をするようになり…。千年の時を超え、人を恋い、惑う心の深淵をのぞく恋愛小説。『婦人公論』連載を単行本化。

2020/9./ 388p

978-4-12-005334-4

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/11/22



芥川賞候補傑作選<戦前・戦中編> 1935-1944

鶴飼哲夫 編

春陽堂書店

芥川賞の候補になった秀作のうち、今日では入手が難しい作品の中から、未知の世界へ冒険に飛び出した新人の清新な短編と選評を掲載。戦前・戦中編は、太宰治「逆行」、織田作之助「俗臭」など 14 編を収録。

2020/4./ 11p,675p

978-4-394-19005-9

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/11/22



芥川賞候補傑作選<平成編 1> 1989-1995

鶴飼哲夫 編

春陽堂書店

芥川賞の候補になった秀作のうち、今日では入手が難しい作品の中から、未知の世界へ冒険に飛び出した新人の清新な短編と選評を掲載。平成編は、河林満「湯水」、村上政彦「量子のベルカント」など全 9 編を収録。

2020/11./ 5p,673p

978-4-394-19006-6

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/11/22



ごはんですよ(だいわ文庫 411-2D)

東海林 さだお 著

大和書房

ごはんの食べ方、ごはんのお供、ごはんの思い出、おにぎりやお弁当について…。「ごはんを、いかにおいしく食べるか」をテーマにした、東海林さだおのエッセイ集。椎名誠との対談、スズキナオの解説文も収録する。

2020/10./ 287p

978-4-479-30835-5

本体 ¥800+税



読売新聞 2020/11/22



三島由紀夫レター教室(ちくま文庫)

三島 由紀夫 著

筑摩書房

読売新聞 2020/11/22

1991/12./ 227p

978-4-480-02577-7

本体 ¥620+税





エクストリーム・エコノミー～大変革の時代に生きる経済、死ぬ経済～

リチャード・デイヴィス 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

超IT社会のエストニア、超高齢社会の日本、超格差社会のチリ…。未来を先取りした「極限の場所」を徹底取材。それぞれがもつレジリエンスと困難を比較・考察し、経済の脆さと強さを探究する。

2020/10./ 519p
978-4-596-55159-7
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2020/11/22



夜がどれほど暗くても(ハルキ文庫 な 21-1)

中山七里 著
角川春樹事務所

志賀倫成は大手出版社の週刊誌の副編集長。だが息子・健輔に殺人の疑いがかかり、スキャンダルを追う立場から追われる立場に。だが、被害者の娘、奈々美と出会い…。ドラマの原作。西原理恵子の解説コミックも収録。

2020/9./ 296p
978-4-7584-4363-0
本体 ¥700+税



読売新聞 2020/11/22



侮ってはならない中国～いま日本の海で何が起きているのか～(信山社新書)

坂元 茂樹 著
信山社出版

海軍大国をめざすのみならず、自国の経済発展のために海洋資源の確保を必要とし、その独占を図ろうとしている中国。中国の海洋進出に対して、日本がいかに対処すべきかを国際法の観点から論じる。

2020/10./ 20p,223p
978-4-7972-8104-0
本体 ¥880+税



読売新聞 2020/11/22



ふるさと東京今昔散歩～With English Translation～<第1巻> 浅草編

坂崎 幸之助／生田 誠 著
フォト・パブリッシング

浅草の今昔物語には、幼い自分へのノスタルジーと大人になった自分にとっての浪漫が詰め込まれている。浅草寺、花屋敷、凌雲閣、国際劇場、鬼灯市・羽子板市など、いまは懐かし、浅草の風景を、絵葉書や写真で紹介する。

2020/10./ 95p
978-4-8021-3201-5
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/11/22



学術書を読む

鈴木 哲也 著
京都大学学術出版会

「書く」現場に携わる大学出版の編集者が、専門外の本を読むことの意味について考え、その選書法を4つのカテゴリーに分けて紹介。さらに、「学びたいことが学べない」状況からどう脱出するかを、読書という視点から提案する。

2020/10./ 138p
978-4-8140-0301-3
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/11/22



京都手帖 2021

光村推古書院編集部 編
光村推古書院
読売新聞 2020/11/22

2020/9./ 224p
978-4-8381-0606-6
本体 ¥1,500+税





学術書を書く

鈴木 哲也、高瀬 桃子 著
京都大学学術出版会

電子化時代に学術書を書くとは、どういうことか。魅力的な学術書の執筆技法とは-。最前線に携わる大学出版の編集者が「書く意味・書く技」を実践的に解説する。実際に本を仕上げていく際の留意点も掲載。

2015.9./ 155p
978-4-87698-884-6
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/11/22



僕が旅人になった日

TABIPPO 著
ライツ社

一人旅、世界一周、野宿、巡礼、自転車旅、大陸横断、働きながら旅をする…。メディアプラットフォーム「note」に投稿された 4000 件以上の作品をもとに、あらゆる形で世界中を旅した 20 人のストーリーをまとめる。

2020.9./ 383p
978-4-909044-27-3
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/11/22



三島由紀夫～悲劇への欲動～(岩波新書 新赤版 1852)

佐藤 秀明 著
岩波書店

「悲劇的なもの」への憧憬と渇仰。それは三島由紀夫にとって存在の深部から湧出する抑えがたい欲動であった-。衝撃的な自決から半世紀。身を挺して生涯を完結させた作家の精神と作品の深奥に迫る。

2020.10./ 7p,259p
978-4-00-431852-1
本体 ¥860+税



読売新聞 2020/11/22、日本経済新聞 2020/11/28



暴流(ぼる)の人三島由紀夫

井上 隆史 著
平凡社

自らが抱えるニヒリズムを、近代という時代の病、人間存在の闇として問うた三島由紀夫。「豊饒の海」の完成と自死はなぜ同時に計画されたのか。作家の内なる声を掬い取り、自刃の謎に迫る。三島研究の第一人者による評伝。

2020.10./ 543p
978-4-582-83844-2
本体 ¥3,200+税



読売新聞 2020/11/22、日本経済新聞 2020/11/28



ワシントン・ブラック

エシ・エデュジアン 著
小学館

1830 年、東カリブ・バルバドス島。大農園の奴隷少年「ワッシュ」ことワシントン・ブラックは、農園主の弟ティッチに見込まれ科学研究の助手となり、2 人で作った気球で北極を目指す…。読む悦びにあふれた歴史冒険小説。

2020.9./ 445p
978-4-09-356720-6
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2020/11/29



オルタネート

加藤 シゲアキ 著
新潮社

高校生限定のマッチングアプリが必須となった現代。東京の高校を舞台に、3 人の若者の運命が、鮮やかに加速していき…。悩み、傷つきながら<私たち>が「世界との距離をつかむまで」を描く。『小説新潮』掲載を加筆し書籍化。

2020.11./ 380p
978-4-10-353731-1
本体 ¥1,650+税



読売新聞 2020/11/29



海神の島

池上 永一 著
中央公論新社

オバアの願いは花城三姉妹の誰かに、米軍基地内にある海神の墓を守って欲しいということ。墓守は嫌だと拒否した三人だったが、20年後、それぞれの立場で海神の謎を追うことに…。『読売新聞オンライン』連載を加筆・修正。

読売新聞 2020/11/29

2020/9./ 474p
978-4-12-005331-3
本体 ¥1,900+税



アメリカの政党政治～建国から250年の軌跡～(中公新書 2611)

岡山 裕 著
中央公論新社

アメリカではなぜ、特定の2政党が例外的にも見える政党政治を生み出しているのか。支持層・基盤を変えながら民主・共和の2大政党が制度化していく歴史を辿り、大統領を中心に語られてきたアメリカ政治の本質を描く。

読売新聞 2020/11/29

2020/10./ 7p, 268p
978-4-12-102611-8
本体 ¥880+税



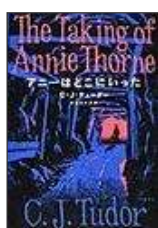
アレックスと私(ハヤカワ文庫 NF 564)

アイリーン・M・ペーパーバーグ 著
早川書房

アレックスという名の天才ヨウム(オウム科)が31歳の若さで亡くなった。「鳥は“思考して話す”」という驚愕の事実を証明して…。女性科学者と鳥の、愛と苦悩と発見の記録。著者インタビュー、よくある質問を追加し文庫化。

読売新聞 2020/11/29

2020/10./ 333p
978-4-15-050564-6
本体 ¥860+税



アニーはどこにいった

C・J・チューダー 著
文藝春秋

妹アニーに起きた忌まわしい出来事がふたたび起こる。そう告げる不吉なメールでぼくは故郷に呼び戻された。過去の忌まわしい記憶と、現在の忌まわしい事件。惨劇の家で起こる怪異。封印した恐ろしい記憶…。ホラー・ミステリ。

読売新聞 2020/11/29

2020/10./ 375p
978-4-16-391276-9
本体 ¥2,250+税



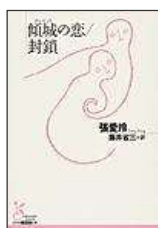
カラマーゾフの兄弟<2>(光文社古典新訳文庫)

ドストエフスキー 著
光文社

死の床にあるゾシマ長老が残す、輝く言葉の数々。長老の驚くべき過去が、明らかにされる。イワンが語る物語詩「大審問官」の本当の意味。少女の一滴の涙は、世界の救済と引き換えにできるか。

読売新聞 2020/11/29

2006/11./ 501p
978-4-334-75117-3
本体 ¥781+税



傾城の恋/封鎖(光文社古典新訳文庫 KA チ 3-1)

張 愛玲 著
光文社

離婚後、没落した実家に戻っていた白流蘇。異母妹の見合いに同行したところ、英国育ちの青年実業家に見初められ…。『傾城の恋』をはじめ、20世紀中国文学を代表する張愛玲のラブストーリーとエッセーを収録。

読売新聞 2020/11/29

2018/5./ 232p
978-4-334-75377-1
本体 ¥860+税





異邦の仔〜バイトで行ったイラクで地獄を見た〜(実業之日本社文庫 に8-1)

西川 司 著
実業之日本社

放送作家の立花遼一が電車を降りた直後、車両が爆発した。さらに数日後に起きた爆発事件の被害者は、彼が 34 年前にイラクで出会った日本人と同姓同名で…。電車で命を狙われたのは遼一だったのか。謎を解く鍵は灼熱の地に-。

2020.10./ 382p
978-4-408-55627-7
本体 ¥780+税



読売新聞 2020/11/29



お葬式の言葉と風習〜柳田國男『葬送習俗語彙』の絵解き事典〜

高橋 繁行 著
創元社

日本人は死や死者をどう捉えてきたのか。柳田國男「葬送習俗語彙」で取り上げられた言葉の中から約 180 を選び、著者自身の聞き取り調査を盛り込みながら、不思議な魅力をもつ切り絵とともに解説する。

2020.10./ 191p
978-4-422-23041-2
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/11/29



生還〜『食人』を冒した老船長の告白〜

合田 一道 著
柏艚舎

第二次世界大戦中、知床半島の先端で起きた食人事件。飢餓地獄から奇蹟の神兵として生還し、食人鬼として裁かれた男の内面を 15 年に及ぶインタビューで描き出す。

2020.9./ 286p
978-4-434-27849-5
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/11/29



国際協力の戦後史

末廣 昭/宮城 大蔵/千野 境子/高木 佑輔 編
荒木 光弥 著
東洋経済新報社

1970 年代の石油危機と食料危機。これに対応するための資源獲得戦略を背景に JICA(国際協力事業団)は構想された-。日本の援助戦略を描いたキーパーソンが明かす、驚愕の秘話。

2020.10./ 298p
978-4-492-06215-9
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2020/11/29



ヴァイオリニストの第五楽章

前橋 汀子 著
日本経済新聞出版社

冷戦下の“奇蹟”のソ連留学、数々の運命的な出会い…。日本を代表するヴァイオリニストが、演奏家としての原点を見つめ直した随想集。ロシア文学者・亀山郁夫との対談も収録。『日本経済新聞』連載に書き下ろしを加え書籍化。

2020.11./ 239p
978-4-532-17690-7
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/11/29



旧約聖書〜<戦い>の書物〜(世界を読み解く一冊の本)

長谷川 修一 著
慶應義塾大学出版会

旧約聖書はどのように生まれたのか。テキストが描く「歴史世界」と激動の古代イスラエル史を対比させ、著者たちが自らのアイデンティティを懸けて繰り広げた思想史上の<戦い>を、考古学・聖書学の知見に基づいて読み解く。

2020.9./ 4p,244p
978-4-7664-2563-5
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2020/11/29



中学生と動物たち

小山 晴子 著

秋田文化出版

小さい動物たちを介してつくり出された、中学校の生徒たちとのつながりの中で、私は「いのち」についての思いを、生徒たちと分かち合うことが出来た。秋田の中学校の理科教師として働いていた頃の思い出を綴る。

読売新聞 2020/11/29

2020.11./ 80p

978-4-87022-593-0

本体 ¥1,000+税



自省録〜マルクス・アウレーリウス〜 改版(岩波文庫 青 610-1)

マルクス・アウレーリウス 著

岩波書店

あたかも一万年も生きるかのように行動するな。生きているうちに、許されている間に、善き人たれ。ローマ皇帝でストア派の哲人マルクス・アウレーリウス(121-180)。多端な公務に東奔西走しつつ、透徹した目で自らを内省した記録は、古来、数知れぬ人々の心の糧となってきた。神谷美恵子の清冽な訳文に、新たな補注を加えた。

日本経済新聞 2020/11/07

2007.2./ 327p

978-4-00-336101-6

本体 ¥860+税



方法序説(岩波文庫 青 613-1)

デカルト, R. 著

岩波書店

すべての人が真理を見いだすための方法を求めて、思索を重ねたデカルト(1596-1650)。「われ思う、ゆえにわれあり」は、その彼がいつさいの外的権威を否定して達した、思想の独立宣言である。本書で示される新しい哲学の根本原理と方法、自然の探求の展望などは、近代の礎を築くものとしてわたしたちの学問の基本的な枠組みをなしている。

日本経済新聞 2020/11/07

1997.7./ 137p

978-4-00-336131-3

本体 ¥520+税



ベーコン随想集(岩波文庫)

フランシス・ビスカント・セント・アルバン、渡辺義雄 著

岩波書店

日本経済新聞 2020/11/07

1983.4./ 327p

978-4-00-336173-3

本体 ¥760+税



角川まんが学習シリーズ 日本の歴史 全15巻定番セット(角川まんが学習シリーズ)

KADOKAWA

日本経済新聞 2020/11/07

2015.7./ 3360p

978-4-04-103597-9

本体 ¥12,000+税



数奇伝(講談社文芸文庫 た AM1)

田岡 嶺雲 著

講談社

著作のほとんどが発禁となった叛骨の思想家・田岡嶺雲。少年期の民権運動への参加、中国山脈の山麓に住む芸妓との激しい恋と破綻、上海への渡航、従軍、筆禍での下獄…。貧困と差別のない世界を夢みた男の自叙伝。

日本経済新聞 2020/11/07

2020.10./ 373p

978-4-06-521452-7

本体 ¥1,800+税





空海の風景<上巻> 新装改版

司馬 遼太郎 著
中央公論新社

弘法大師空海の足跡をたどり、その時代風景のなかに自らを置き、過去と現在の融通無碍の往還によって、日本が生んだ最初の「人類普遍の天才」の実像に迫る。司馬文学の傑作。75 年中央公論社刊の新装改版。上巻。

日本経済新聞 2020/11/07

2005:6./ 347p
978-4-12-003645-3
本体 ¥1,800+税



空海の風景<下巻> 新装改版

司馬 遼太郎 著
中央公論新社

弘法大師空海の足跡をたどり、その時代風景のなかに自らを置き、過去と現在の融通無碍の往還によって、日本が生んだ最初の「人類普遍の天才」の実像に迫る。司馬文学の傑作。75 年中央公論社刊の新装改版。下巻。

日本経済新聞 2020/11/07

2005:6./ 384p
978-4-12-003646-0
本体 ¥1,800+税



万葉集講義～最古の歌集の素顔～(中公新書 2608)

上野 誠 著
中央公論新社

「万葉集」は、日本的な「国民文学」のイメージで語られるが、それははたして妥当か。古代日本が範を仰いだ中国の詩文の色濃い影響をどう見るべきか。代表的な歌々を紹介・解説しつつ、現存最古の歌集の実像を明らかにする。

日本経済新聞 2020/11/07

2020:9./ 8p,243p
978-4-12-102608-8
本体 ¥880+税



レイラの最後の 10 分 38 秒

エリフ・シャファク 著
早川書房

1990 年のイスタンブール。路地裏で娼婦レイラが息絶えた。だが、心臓の動きが止まった後も 10 分 38 秒のあいだ、意識は続いた。時間の感覚が薄れていくなか、これまでの人生の痛み、苦しみ、喜びが溢れだし...

日本経済新聞 2020/11/07

2020:9./ 372p
978-4-15-209962-4
本体 ¥2,300+税



もっと遠く～南北両アメリカ大陸縦断記北米篇～<上>(文春文庫)

開高健、水村孝 著
文藝春秋

日本経済新聞 2020/11/07

1983:12./ 271p
978-4-16-712707-7
本体 ¥660+税



もっと広く～南北両アメリカ大陸縦断記南米篇～<上>(文春文庫)

開高健、水村孝 著
文藝春秋

日本経済新聞 2020/11/07

1983:12./ 255p
978-4-16-712709-1
本体 ¥660+税





交響録 N 響で出会った名指揮者たち

茂木 大輔 著
音楽之友社

聴く側では知り得ない、指揮者の個性、技量…。1990 年から 2019 年に定年退職するまでの 29 年間、NHK 交響楽団(N 響)の首席オーボエ奏者として演奏した著者が、共演した名指揮者たちとの思い出を綴る。

日本経済新聞 2020/11/07

2020/9./ 205p
978-4-276-21131-5
本体 ¥2,000+税



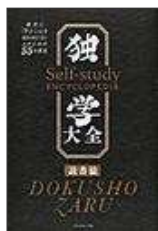
宇宙考古学の冒険～古代遺跡は人工衛星で探し出せ～

サラ・パークック 著
光文社

“現代のインディ・ジョーンズ”は、人工衛星で遺跡を探す! 宇宙考古学の第一人者であり、気鋭のエジプト学者である著者が、自身の体験を軸に、宇宙考古学の最先端、大発見、そして秘められた可能性を余すところなく紹介。

日本経済新聞 2020/11/07

2020/9./ 478p
978-4-334-96244-9
本体 ¥2,400+税



独学大全～絶対に「学ぶこと」をあきらめたくない人のための 55 の技法～

読書猿 著
ダイヤモンド社

独学の達人である著者による、勉強法の百科事典。何を、どう学べばいいか迷った時に役立つ、著者が独自に収集・開発した 55 の技法を厳選して紹介する。巻末に折込みの「独学困りごと索引」付き。

日本経済新聞 2020/11/07

2020/9./ 752p,34p
978-4-478-10853-6
本体 ¥2,800+税



世界標準の経営理論

入山 章栄 著
ダイヤモンド社

知の探索・知の進化の理論、取引費用理論、センスメイキング理論…。「ビジネスの真理に肉薄している可能性が高い」として生き残ってきた、世界の主要な経済理論 30 を体系化し、わかりやすく解説する。

日本経済新聞 2020/11/07

2019/12./ 3p,820p
978-4-478-10957-1
本体 ¥2,900+税



中東政治入門 (ちくま新書 1514)

末近 浩太 著
筑摩書房

シリア内戦、イスラーム国、アラブの春、石油依存経済、パレスチナ問題…。中東政治学のエッセンスを紹介しながら、国家、独裁、紛争、石油、宗教という 5 つのテーマをめぐり、様々な問題が「なぜ」起こったのかを読み解く。

日本経済新聞 2020/11/07

2020/9./ 320p,14p
978-4-480-07344-0
本体 ¥1,000+税



後鳥羽院 第2版 (ちくま学芸文庫 マ 37-1)

丸谷 才一 著
筑摩書房

承久の変後、孤絶と憂悶の慰めを歌に託し、失意の後半生を隠岐に生きた後鳥羽院。最高の天皇歌人であり、「新古今」で批評家としての偉大さを示す後鳥羽院を中心とした日本文学史論。巻末に後鳥羽院年譜と和歌索引を付す。

日本経済新聞 2020/11/07

2013/3./ 462p
978-4-480-09532-9
本体 ¥1,500+税





イエスの意味はイエス、それから...

カロリン・エムケ 著

みすず書房

#MeToo 運動は社会が変化する可能性を開いてくれた。ハラスメントや虐待の例をあげて、暴力を支える理論を問い直し、新たな言葉、イメージ、その共有の仕方を考察する。小さな声で世界を変えていく一冊。

日本経済新聞 2020/11/07

2020.10./ 139p

978-4-622-08946-9

本体 ¥2,800+税



オーケストラ楽器別人間学

茂木大輔 著

草思社

どんな楽器がどんな性格を生み、いかなる人がいかなる楽器を選ぶのか。オーボエ奏者である著者の画期的な楽器別人格形成論。はじけるユーモア、鋭い視点、リアリティあふれる分析。楽器を、音楽を愛する人に。

日本経済新聞 2020/11/07

1996.4./ 221p

978-4-7942-0693-0

本体 ¥1,500+税



テクノロジーの世界経済史〜ビル・ゲイツのパラドックス〜

カール・B・フレイ 著

日経BP社

テクノロジーは、人間を幸福にしてきたか? AI によって人間の仕事の半分が消えるというオックスフォード大学の衝撃レポート「雇用の未来」の共著者が描く、人間 VS テクノロジーの過去と未来。

日本経済新聞 2020/11/07

2020.9./ 648p

978-4-8222-8902-7

本体 ¥3,200+税



コンピューターは人のように話せるか?〜話すこと・聞くことの科学〜

トレヴァー・コックス 著

白揚社

人間の会話は超弩級の離れ業だった! 話す能力の生物学的進化からコンピューターによる言語的創造活動の可能性まで、言語によるコミュニケーションの進化を多様な角度から展望する。

日本経済新聞 2020/11/07

2020.10./ 342p

978-4-8269-0221-2

本体 ¥2,700+税



アイデア大全〜創造力とブレイクスルーを生み出す 42 のツール〜

読書猿 著

フォレスト出版

新しいアイデアを生むさまざまな方法を具体例とともに明示。ノウハウだけでなく、その底にある心理プロセスや、方法が生まれてきた歴史あるいは思想的背景、他の知的営為とのつながりにまで踏み込んで紹介する。

日本経済新聞 2020/11/07

2017.1./ 335p

978-4-89451-745-5

本体 ¥1,700+税



ダーウィン『種の起源』を漫画で読む

チャールズ・ダーウィン／マイケル・ケラー 著

いそつぷ社

1859 年に出版されたダーウィンの「種の起源」を、繊細で美しいタッチの漫画で紹介。「種の起源」を出版するまでの経緯や、ダーウィン以後の進化生物学の発展についても描く。

日本経済新聞 2020/11/07

2020.6./ 191p

978-4-900963-89-4

本体 ¥1,600+税





黄禍論～百年の系譜～(講談社選書メチエ 734)

廣部 泉 著

講談社

日本と中国が同盟し、西洋が征服される。日露戦争を契機に生まれ、アメリカの根底に刻まれた強迫観念。政治・外交に影を落とし続ける「人種主義的思考」とは何か。100年以上にわたる「黄色い禍」という言説の系譜を辿る。

2020/9./ 237p

978-4-06-520921-9

本体 ¥1,650+税



日本経済新聞 2020/11/07、朝日新聞 2020/11/14



戦国の忍び(角川新書 K-333)

平山 優 著

KADOKAWA

史料に残された忍びにまつわる記述を丹念に読み解くことで見えてきたのは、夜の戦場で活躍する忍びの姿と、昼夜を分かたずに展開される熾烈な攻防戦だった。武田氏、真田氏研究の第一人者が、忍びの驚きの実態を明かす。

2020/9./ 350p

978-4-04-082359-1

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2020/11/07、朝日新聞 2020/11/21



明治維新の意味(新潮選書)

北岡 伸一 著

新潮社

明治の国家運営は、なにが優れていたのか？ 新政府成立から遷都、廃藩置県、徴兵制、地租改正、義務教育、鉄道・通信の敷設、憲法制定、議会政治樹立まで。スピード感あふれる政治の実態を描き、新たな明治維新論を提示する。

2020/9./ 367p

978-4-10-603853-2

本体 ¥1,750+税



日本経済新聞 2020/11/07、読売新聞 2020/11/08



旅ごころはリュートに乗って

星野 博美 著

平凡社

古楽器リュートに魅せられ、時空を超えた旅に出た。舞台はルネサンスから中世へ、やがて現代世界にも響くキリスト教の深い闇へ。「みんな彗星を見ていた」を受けつぐノンフィクション。『こころ』連載を加筆修正し単行本化。

2020/9./ 341p

978-4-582-83845-9

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2020/11/07、読売新聞 2020/11/15



師弟(講談社文庫 の19-1)

野村 克也／宮本 慎也 著

講談社

「弱者」は「勝者」になり得るか。名将・野村克也と、彼が「最高の教え子」と認める宮本慎也が、「結果」を出すための野球・仕事・人生論を語る。文庫版限定特別インタビューも収録。

2020/10./ 248p

978-4-06-520398-9

本体 ¥640+税



日本経済新聞 2020/11/14



フィリピンパブ嬢の社会学(新潮新書 704)

中島 弘象 著

新潮社

月給 6 万円、偽装結婚、ゴキブリ部屋に監視付、休みは月に 2 回だけ…。フィリピンパブを研究するうちに、あるパブ嬢と付き合いようになった著者が、その驚きの世界をユーモラスに描いた、異色のノンフィクション系社会学。

2017/2./ 238p

978-4-10-610704-7

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2020/11/14



移民と日本社会～データで読み解く実態と将来像～(中公新書 2580)

永吉 希久子 著
中央公論新社

日本の大きな課題である移民について、感情論を排し、統計を用いた計量分析で論じた書。実証的な観点から、経済、労働、社会保障、統合のあり方を展望。移民受け入れのあり方を通して、日本社会の特質と今後を浮き彫りにする。

2020.2./ 5p,289p
978-4-12-102580-7
本体 ¥900+税



日本経済新聞 2020/11/14



独裁の世界史(NHK 出版新書 638)

本村 凌二 著
NHK出版

なぜプラトンは「独裁」を理想の政治形態と考えたのか? 独裁者の台頭を防いだ古代ローマの知恵とは? 2500 年規模の世界史を大胆に整理し、「独裁」を切り口に語りなおす。「テンミニッツ TV」配信講義を編集し書籍化。

2020.11./ 234p
978-4-14-088638-0
本体 ¥850+税



日本経済新聞 2020/11/14



プリズン・ブック・クラブ～コリンズ・ベイ刑務所読書会の一年～

アン・ウォームズリー 著
紀伊國屋書店出版部

カナダで雑誌記者をしている著者が刑務所の読書会に一年間、ボランティアとして参加した記録。みずからの経験を背負いつつ、さまざまな意見を率直にぶつけていく受刑者たちの、熱気あふれるやりとりを生き生きと描き出す。

2016.8./ 445p
978-4-314-01142-6
本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2020/11/14



チョンキンマンションのボスは知っている～アングラ経済の人類学～

小川 さやか 著
春秋社

一攫千金を夢見て香港に集まるタンザニア人。彼らのセーフティネット、信用システム、シェア経済とは? 既存の制度に期待しない人々の生き様と経済のしくみを読み解く。『ウェブ春秋はるとあき』連載をもとに単行本化。

2019.7./ 273p
978-4-393-33371-6
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/11/14



明治憲法史(ちくま新書 1513)

坂野 潤治 著
筑摩書房

「明治憲法(大日本帝国憲法)の時代」とは? 議会権限の弱さが無謀な戦争の回避を困難にした一方、デモクラシーの様々な実践が開花した。明治～昭和初期の政治史を憲法史として再構築し、明治憲法の構造と機能を解明する。

2020.9./ 236p
978-4-480-07317-4
本体 ¥820+税



日本経済新聞 2020/11/14



幸運を探すフィリピンの移民たち～冒険・犠牲・祝福の民族誌～

細田 尚美 著
明石書店

グローバルな人の動きに関する分野で注目を集めるフィリピンを舞台とし、神からの祝福とされる「幸運」という概念を中心に据え、同国中部のサマル島から外へ旅立った人々と故地とのつながりを論じる。

2019.2./ 395p
978-4-7503-4795-0
本体 ¥5,000+税



日本経済新聞 2020/11/14



新興大インドの行動原理～独自リアリズム外交のゆくえ～

伊藤 融 著

慶應義塾大学出版会

日本にとって「重要だが理解できない国」インド。中国が存在感を増すなかで、アジアの新たな大国の、外交の見えざる行動様式をあぶりだす。インドの具体的外交政策も検討。

2020/9./ 3p,225p,26p

978-4-7664-2695-3

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/11/14



裸足で逃げる～沖縄の夜の街の少女たち～(at プラス叢書 16)

上間 陽子 著

太田出版

沖縄の風俗業界で働く女性たちの調査の記録。家族や恋人や知らない男たちから暴力を受けて育った少女たちが、そこから逃げて、自分の居場所をつくりあげるまでを綴る。『at プラス』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2017/2./ 260p

978-4-7783-1560-3

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/11/14



Coders～凄腕ソフトウェア開発者が新しい世界をビルドする～

クライブ・トンプソン 著

日経BP社

各種サービスを開発・提供する「ソフトウェア開発者」の多彩かつ具体的なエピソードを通じて、彼ら・彼女らはどのように考え、行動し、ソフトウェア/サービスを生み出しているのかを解き明かす。

2020/9./ 429p

978-4-8222-8979-9

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/11/14



手の倫理(講談社選書メチエ 735)

伊藤 亜紗 著

講談社

人が人の体にさわる/ふれるとき、そこにはどのような緊張や信頼、あるいは交渉や譲歩が交わされているのか。さまざまな場面における手の働きに注目しながら、そこにある触覚ならではの関わりのかたちを明らかにする。

2020/10./ 214p

978-4-06-521353-7

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2020/11/14、朝日新聞 2020/11/28



マンスキー データ分析と意思決定理論～不確実な世界で政策の未来を予測する～

チャールズ・マンスキー 著

ダイヤモンド社

データ分析に基づいた未来予測は報告によってバラバラで、どれを信用していいのかわからない。私達はデータ分析とどう付き合えばいいのか。革新的な計量分析手法を開発し、多方面に多大な影響を及ぼした著者が平易に解説する。

2020/9./ 347p

978-4-478-10574-0

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2020/11/14、朝日新聞 2020/11/28



ルポ新大久保～移民最前線都市を歩く～

室橋裕和 著

辰巳出版

人口の 35%が外国人! “よそもの”によって作られ、常に変貌し続ける街・新大久保。ふたつの世代の韓国人たち、4 か国合同の「新大久保フェス」…。気鋭のノンフィクションライターが、多文化都市の 1 年間を活写する。

2020/9./ 366p

978-4-7778-2356-7

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2020/11/14、読売新聞 2020/11/15



海をあげる

上間 陽子 著

筑摩書房

おびやかされる沖縄での美しく優しい生活。幼い娘を抱え、理不尽な暴力に直面してなお、その目には光が…。自らの声を聞き取った、著者初のエッセイ集。『web ちくま』『新潮』掲載に加筆修正し、書きおろしを加え単行本化。

2020.10./ 251p

978-4-480-81558-3

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2020/11/14、毎日新聞 2020/11/21



ふたりのロッテ 改版(ケストナー少年文学全集 6)

ケストナー、高橋 健二 著

岩波書店

日本経済新聞 2020/11/21

2006.5./ 204p

978-4-00-115056-8

本体 ¥1,560+税



動物会議(ケストナー少年文学全集)

ケストナー、高橋 健二 著

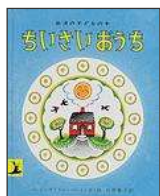
岩波書店

日本経済新聞 2020/11/21

1980.1./ 182p

978-4-00-115058-2

本体 ¥1,500+税



ちいさいうち 改版(岩波の子どもの本)

バージニア・リー・バートン 著

岩波書店

静かないなかに、ちいさなおうちがたっていました。リンゴの木や畑にかこまれて、たいへんしあわせでしたが、まわりに工場がたち、電車が通って、にぎやかな町になると

・・・

1991.1.

978-4-00-115106-0

本体 ¥800+税



日本経済新聞 2020/11/21



あしながおじさん(岩波文庫 赤 314-1)

ジーン・ウェブスター 著

岩波書店

孤児のジルーシャは頭がよくて機知があり、楽天的でしかも独立心に燃えるけなげな娘である。自分を大学に入れてくれた匿名の篤志家「あしながおじさん」に毎日の出来事を手紙で報告しなければならない。一この書簡体小説には女流作家ウェブスターのもって生まれたユーモアと人を愛するおおらかな気持ちがみなぎっている。

日本経済新聞 2020/11/21

1933.8.

978-4-00-323141-8

本体 ¥780+税



ネガティブ・ケイパビリティ～答えの出ない事態に耐える力～(朝日選書 958)

帯木 蓬生 著

朝日新聞出版

ネガティブ・ケイパビリティとは、どうにも答えの出ない、どうにも対処しようのない事態に耐える能力のこと。小説家であり、臨床 40 年の精神科医である帯木蓬生が、この「負の力」を多角的に分析する。

日本経済新聞 2020/11/21

2017.4./ 254p

978-4-02-263058-2

本体 ¥1,300+税





地方選～無風王国の「変人」を追う～

常井 健一 著

KADOKAWA

現役町村長の再選率 84.2%。のどかな田舎で暮らす名もなき新人候補は、なぜ高い壁に挑んだのか? 選挙を旅し、地方政治のリアルを伝える異色ノンフィクション。『新潮 45』連載に加筆・修正。

日本経済新聞 2020/11/21

2020.9./ 285p

978-4-04-109839-4

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 0 4 1 0 9 8 3 9 4 *



タベの雲(講談社文芸文庫)

庄野 潤三 著

講談社

何もさえぎるものがない丘の上の新しい家。主人公はまず“風よけの木”のことを考える。家の団欒を深く静かに支えようとする意志。季節季節の自然との交流を詩情豊に描く、読売文学賞受賞の名作。

日本経済新聞 2020/11/21

1988.4./ 325p

978-4-06-196015-2

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 0 6 1 9 6 0 1 5 2 *



戦艦大和ノ最期(講談社文芸文庫)

吉田 満 著

講談社

昭和 20 年 3 月 29 日、世界最大の不沈戦艦と誇った「大和」は、必敗の作戦へと呉軍港を出港した。吉田満は前年東大法科を繰り上げ卒業、海軍少尉、副電測士として「大和」に乗り組んでいた。「徳之島ノ北西洋上、「大和」轟沈シテ巨体四裂ス今ナオ埋没スル三千の骸(ムクロ)彼ヲ終焉ノ胸中果シテ如何」戦後半世紀、いよいよ光芒を放つ名作の「決定稿」。

日本経済新聞 2020/11/21

1994.8./ 201p

978-4-06-196287-3

本体 ¥1,000+税



* 9 7 8 4 0 6 1 9 6 2 8 7 3 *



山蹊賦(講談社文芸文庫)

古井 由吉 著

講談社

日本経済新聞 2020/11/21

2006.9./ 253p

978-4-06-198453-0

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 0 6 1 9 8 4 5 3 0 *



新しい人よ眼ざめよ(講談社文芸文庫)

大江 健三郎 著

講談社

日本経済新聞 2020/11/21

2007.2./ 394p

978-4-06-198467-7

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 0 6 1 9 8 4 6 7 7 *



アメリカの影(講談社文芸文庫)

加藤 典洋 著

講談社

日本経済新聞 2020/11/21

2009.9./ 386p

978-4-06-290061-4

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 0 6 2 9 0 0 6 1 4 *

**かかとを失くして 三人関係 文字移植(講談社文芸文庫 た AC3)**

多和田 葉子 著

講談社

9時17分着の夜行列車で中央駅のホームへ降りた、遠い国から来た私。なぜか周囲からかかとを笑われながら、書類結婚をした男の住むアパートで、扉に隠れて姿を見せない夫との奇妙な生活が始まる…。全3篇を収録。

2014.4./ 253p

978-4-06-290227-4

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2020/11/21

**乳母車/最後の女～石坂洋次郎傑作短編選～(講談社文芸文庫 い AA1)**

三浦 雅士 編

石坂 洋次郎 著

講談社

女子大生・ゆみ子が「不敵な決意」をもって実行した、「絶望的な性質」を有した行為とは。「乳母車」をはじめ、戦後を代表する流行作家が無意識に追い続けた女たちの姿を描いた、名編9作を収録する。

2020.1./ 276p

978-4-06-518602-2

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2020/11/21

**つげ義春日記(講談社文芸文庫 つ K1)**

つげ 義春 著

講談社

昭和50年代、漫画家つげ義春は自作漫画が次々と文庫化され、人気を博す。一方で、将来への不安、育児の苦勞、妻の闘病と自身の不調など、人生の尽きせぬ悩みに向き合う日々を、私小説さながらにユーモア漂う文体で綴る。

2020.3./ 374p

978-4-06-519067-8

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2020/11/21

**稲垣足穂詩文集(講談社文芸文庫 い Y1)**

稲垣 足穂 著

講談社

前衛詩運動の歴史的視点から稲垣足穂のテキストを「詩」として捉え、編まれた大正・昭和初期の小品集。大正期から戦後を経て晩年に至るまでの詩論や随筆も豊富に収録する。

2020.3./ 349p

978-4-06-519277-1

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2020/11/21

**テキストから遠く離れて(講談社文芸文庫 か P5)**

加藤 典洋 著

講談社

ポストモダン思想とともに80年代以降、日本の文学理論を席卷した「テキスト論」批評。その淵源をバルト、デリダ、フーコーらの論にたどりつつ、同時代作家らの作品の読解を通して、新たな方法論を開示する。

2020.4./ 379p

978-4-06-519279-5

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/11/21

**ヒナギクのお茶の場合/海に落とした名前(講談社文芸文庫 た AC6)**

多和田 葉子 著

講談社

「女には無理」と断られた照明係の仕事を、重いコードを毎日百回引きずって獲得したパンクな舞台美術家と作家の交流を描く「ヒナギクのお茶の場合」など、言葉とユーモアで境を超える全米図書賞作家の傑作9篇を収録。

2020.8./ 359p

978-4-06-519513-0

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/11/21



村上春樹の世界(講談社文芸文庫 か P6)

加藤 典洋 著

講談社

文芸評論家としてのキャリアのなかで、一貫して村上春樹作品へ強い関心を寄せていた著者。多様な角度から作品群に向き合い、その真価に迫る村上春樹論集。没後発表された遺稿「第二部の深淵」を収録する。

2020/5./ 379p

978-4-06-519656-4

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/11/21



野川(講談社文芸文庫 ふ A12)

古井 由吉 著

講談社

東京大空襲から戦後の涯へ、時空を貫く1本の道。生涯の記憶は、老年の身の内でも響きあい…。戦後の時空間にひしめく死者の声とエロス、現代の生の実相を重層的に描いた長篇小説。

2020/6./ 381p

978-4-06-520209-8

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/11/21



認知症の人が「さっきも言ったでしょ」と言われて怒る理由～5000人を診てわかったほんとうの話～(講談社+α新書 832-1B)

木之下 徹 著

講談社

認知症=絶望ではない。あきらめずに自分の人生の主体者として生き抜くためには-。5000人を診た著者が「認知症とともに、人として暮らすこと、生きること」をテーマに、いまの認知症のほんとうの話を伝える。

2020/8./ 218p

978-4-06-521080-2

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2020/11/21



永遠平和のために

カント、池内 紀 著

集英社

有史以来、戦争をやめない人間が永遠平和を築くために必要なこととは? 哲学者カントの永遠の名著を、日本の未来を担う若者に向けてわかりやすく親しみやすい言葉で訳した「16歳からの平和論」を復刊。

2015/6./ 114p

978-4-08-771631-3

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2020/11/21



非色(河出文庫 あ 35-1)

有吉 佐和子 著

河出書房新社

終戦直後黒人兵と結婚し、幼い子を連れニューヨークに渡った笑子だが、待っていたのは貧民街ハアテムでの半地下生活だった。人種差別と偏見にあいながらも、「差別とは何か?」を問い続け、逞しく生き方を模索し…。

2020/11./ 420p

978-4-309-41781-3

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2020/11/21



人類堆肥化計画

東 千茅 著

創元社

生きることの根源的な問いに、著者独自の生活実践を通して迫る思想的エッセイ。里山を人間を含む多種たちの賑やかな吹き溜まりと捉え、人間と異種たちとの結節点である堆肥を取り上げながら、「生の悦び」を基底から問い直す。

2020/10./ 253p

978-4-422-39004-8

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/11/21



宮沢賢治全集<1> 春と修羅・春と修羅補遺・春と修羅 第二集(ちくま文庫)

宮沢賢治 著

筑摩書房

日本経済新聞 2020/11/21

1986:2./ 744p

978-4-480-02002-4

本体 ¥1,100+税



渋沢栄一～日本のインフラを創った民間経済の巨人～(ちくま新書 1516)

木村 昌人 著

筑摩書房

論語・算盤・「民主化」というキーワードをもとに、東アジアの伝統と文化の中で育まれた渋沢栄一の精神を解明。渋沢の構想した「英米資本主義」を超える日本発の新しいグローバル資本主義を考察しながら、その足跡を紹介する。

日本経済新聞 2020/11/21

2020:9./ 357p,6p

978-4-480-07318-1

本体 ¥1,100+税



ユーラシア「超大陸」の地政学

ブルーノ・マサンエス 著

東京堂出版

世界の人口と経済生産高の約3分の2を有する超大陸「ユーラシア」。東洋と西洋の二極が新たなバランスを形成する「ユーラシアの世紀」の到来を予言し、新たな世界秩序を提示する。ユニークな地政学的分析本。

日本経済新聞 2020/11/21

2020:9./ 445p

978-4-490-21038-5

本体 ¥3,600+税



NO RULES～世界一「自由」な会社、NETFLIX～

リード・ヘイスティングス／エリン・メイヤー 著

日本経済新聞出版社

ルールが必要になる人材を雇わない、社員の休暇日数は指定しない、承認プロセスは全廃していい…。普通じゃない経営手法で世界一成功している企業「NETFLIX」の自由と責任の企業文化を共同創業者が初めて明かす。

日本経済新聞 2020/11/21

2020:10./ 453p

978-4-532-32367-7

本体 ¥2,200+税



いま自然をどうみるか

高木 仁三郎 著

白水社

私たちの自然観は、科学的・理性的なものと、感性的・身体的なものに引き裂かれてしまっている。旧来の人間中心主義的な自然観からの一大転換を説き、自由と解放の自然観を追求する。

日本経済新聞 2020/11/21

2011:5./ 292p

978-4-560-08156-3

本体 ¥2,000+税



ミズと土(平凡社ライブラリー)

チャールズ・ロバート・ダーウィン、渡辺弘之 著

平凡社

ミズによる土壌の侵食をていねいに観察し、ミズが土を耕耘・改良に大きな役割を果たしてくれていることを客観的に、量的に実証する。生態学の古典的名著、偉大なダーウィンの最後の著作。

日本経済新聞 2020/11/21

1994:6./ 317p

978-4-582-76056-9

本体 ¥1,200+税





可能世界と現実世界～進化論をめぐる～

フランソワ・ジャコブ、田村俊秀 著

みすず書房

科学理論の中で特異な位置を占める<進化論>に、最新の研究成果を踏まえつつ、実に多様な側面から照明を当てる試み=エッセイ。分子生物学の泰斗がシャープに論じる<科学の神話>の条件。

1994.6./ 107p

978-4-622-03949-5

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/11/21



戦後文学のみた<高度成長>(歴史文化ライブラリー 511)

伊藤 正直 著

吉川弘文館

伊藤整「氾濫」、庄野潤三「夕べの雲」、立松和平「遠雷」、城山三郎「官僚たちの夏」...。高度成長期の小説は、同時代をどう捉えていたのか。産業構造と労働、近代家族、統治システムの3つに焦点を絞り、作品を読み解く。

2020.11./ 6p,221p

978-4-642-05911-4

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/11/21



飼いならす～世界を変えた10種の動植物～

アリス・ロバーツ 著

明石書店

ヒトが動植物を手なずけたことで、文明が始まり、歴史が変わった-。考古学や最新の遺伝学の知見等も織り交ぜながら、飼いならした自然と、われわれ自身に対する責任を問い、サピエンスの原罪を鮮やかにあぶり出す。

2020.10./ 443p

978-4-7503-5085-1

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2020/11/21



日没

桐野 夏生 著

岩波書店

小説家・マッツ夢井に政府組織から召喚状が届き、彼女は断崖に建つ海辺の療養所へと収容される。「社会に適応した小説」を書けと命じられるが...。表現の不自由の近未来を描く、警世小説。『文学』『世界』掲載を加筆し書籍化。

2020.9./ 329p

978-4-00-061440-5

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/11/21、東京・中日新聞 2020/11/29



飛ぶ教室(新潮文庫 ケ-17-1)

エーリヒ・ケストナー 著

新潮社

波瀾万丈のクリスマス劇「飛ぶ教室」の稽古に励む、寄宿学校の少年たち。ある日、マルティンに母親から手紙が届く。そこにはマルティンが帰省する旅費を工面できなかったと書かれており...。少年たちの成長の物語。

2014.12./ 223p

978-4-10-218641-1

本体 ¥490+税



日本経済新聞 2020/11/21、毎日新聞 2020/11/21



マクロ経済学の再構築～ケインズとシュンペーター～

吉川 洋 著

岩波書店

なぜ現在のマクロ経済学は、現実の危機に無力なのか。「統計物理学」に学び、ケインズとシュンペーターの遺産を融合することで、現実の経済を解明し有効な処方箋を描ける、マクロ経済学のあるべき姿を提示する。

2020.8./ 11p,354p

978-4-00-024830-3

本体 ¥8,000+税



日本経済新聞 2020/11/28



新危機の20年～プーチン政治史～(朝日選書 1014)

下斗米伸夫 著

朝日新聞出版

憲法改正により、最長 2036 年までの続投も可能になったロシアのプーチン大統領。2000～2020 年のプーチン統治のものとロシア連邦を、主としてロシア政治史、特に内政と外交との連繋という視点から徹底考察する。

2020.10./ 334p,25p

978-4-02-263101-5

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/11/28



掃除婦のための手引き書～ルシア・ベルリン作品集～

ルシア・ベルリン 著

講談社

多くの作家に影響を与えながらも、生前は一部にその名を知られるのみだったルシア・ベルリン。逝去から 10 年を経て出版され、ベストセラーとなった短篇集から、24 篇をよりすぐって収録する。

2019.7./ 317p

978-4-06-511929-7

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2020/11/28



快樂としての動物保護～『シートン動物記』から『ザ・コーヴ』へ～(講談社選書メチエ 736)

信岡 朝子 著

講談社

動物をめぐる多様な考え方の間に生ずる葛藤、軋轢、相互作用のメカニズムを、日本とアメリカという対比的な図式を残しつつ、時代の流れや価値観の多様性、可変性なども意識して、様々な角度から検証する。

2020.10./ 400p

978-4-06-521259-2

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2020/11/28



図書館で暮らしたい(講談社文庫 つ 28-20)

辻村 深月 著

講談社

母が作ってくれた 2 色ムースの味、人生のテーマ曲「ノゾミ・カナエ・タマエ」、東京會館で挙げた結婚式の素敵なサプライズ…。辻村深月の“好き”が詰まったエッセイ集。短編「おじいちゃんと、おひさまのかおり」も収録。

2020.10./ 303p

978-4-06-521314-8

本体 ¥660+税



日本経済新聞 2020/11/28



マクロ経済学研究

吉川 洋 著

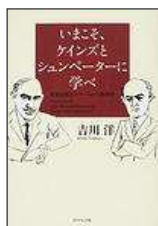
東京大学出版会

日本経済新聞 2020/11/28

1984.6./ 282p

978-4-13-046027-9

本体 ¥4,600+税



いまこそ、ケインズとシュンペーターに学べ～有効需要とイノベーションの経済学～

吉川 洋 著

ダイヤモンド社

不況期における有効需要の大切さを説いたケインズ。イノベーションこそ資本主義の原動力だと喝破したシュンペーター。我々が直面する世界経済危機の克服に向け、天才の遺した「ビジョン」が甦る。

2009.2./ 292p

978-4-478-00826-3

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/11/28



ワイズカンパニー～知識創造から知識実践への新しいモデル～

野中 郁次郎／竹内 弘高 著

東洋経済新報社

企業の競争力の源泉は情報処理ではなく知識創造である。その知識を絶えざる実践を通じて知恵にまで高めることの重要性和、その知恵を獲得・活用するための方法を示す。「知識創造企業」の続編。

2020/8./ 9p,470p,51p

978-4-492-52230-1

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2020/11/28



マネジメントの文明史～ピラミッド建設から GAFa まで～

武藤 泰明 著

日本経済新聞出版社

人を動かし目的を達成するマネジメントの仕組みはいつ誕生したのか？ 古代エジプト、産業革命からアメリカ企業の繁栄、現代まで、5000 年にわたるマネジメントの進化を追う。

2020/10./ 395p

978-4-532-32359-2

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/11/28



みんなの民俗学～ヴァナキュラーってなんだ?～(平凡社新書 960)

島村 恭則 著

平凡社

キャンパスの七不思議やわが家のルール、喫茶店モーニングや B 級グルメなども民俗学の視点で探ることができる。これらの身近なものをヴァナキュラーと読んで、発祥の経緯やその後の広がりをフィールドワークで明らかにする。

2020/11./ 271p

978-4-582-85960-7

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2020/11/28



日本に現れたオーロラの謎～時空を超えて読み解く「赤気」の記録～(DOJIN 選書 87)

片岡 龍峰 著

化学同人

「日本書紀」に記された日本最古の天文記録「赤気」はオーロラだったのか？ 鎌倉時代の「明月記」、江戸時代の「星解」、昭和の連続写真などから、日本オーロラ史をひもとく。NHK のラジオ番組の内容を補足し書籍化。

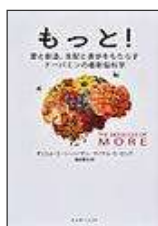
2020/10./ 175p

978-4-7598-1687-7

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2020/11/28



もっと!～愛と創造、支配と進歩をもたらすドーパミンの最新脳科学～

ダニエル・Z・リーバーマン／マイケル・E・ロング 著

合同出版

ドーパミンは、快楽物質ではない。欲求ドーパミンが<期待>を駆り立て、制御ドーパミンが<達成への力>をもたらすのだ。人々を熱愛・冒険・創造・成功に駆り立て、人類の運命をも握るドーパミンを、最新脳科学で解明する。

2020/9./ 341p

978-4-7726-9570-1

本体 ¥2,100+税



日本経済新聞 2020/11/28



失われた報道の自由

マーク R. レヴィン 著

日経BP社

ニューヨーク・タイムズや CNN をうのみにしてはいけない! 現代のメディアでは、報道に携わる人々自らが「報道の自由」を踏みにつけている。なぜ米国一流メディアが偏向報道を続けるのかを明らかにする。

2020/10./ 332p

978-4-8222-8901-0

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/11/28



デジタルテクノロジーと国際政治の力学

塩野 誠 著
ニューズピック

GAFA 対国家、勝つのはどちらか。デジタルテクノロジーと国際政治の物語を紐解き、国家や企業の行動様式とデジタルテクノロジーとの関係性や、これからの国際秩序と覇権について考察し、日本の進むべき道について提言する。

日本経済新聞 2020/11/28

2020.10./ 225p
978-4-910063-12-6
本体 ¥2,200+税



空洞のなかみ

松重 豊 著
毎日新聞出版

物書き松重豊、誕生！ 軽妙洒落な筆致で描かれる、演者の心象風景。「取調室」「ガベル」など短編小説全 12 編+エッセイ全 25 編を収録。『サンデー毎日』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

日本経済新聞 2020/11/28、産経新聞 2020/11/29

2020.10./ 222p
978-4-620-32646-7
本体 ¥1,500+税



夜明けのすべて

瀬尾 まいこ 著
文藝春秋

PMS(月経前症候群)でイライラが抑えられない美紗は、パニック障害で生きがいも気力も失っている山添に当たってしまう。だが、おせっかい者同士のふたりは…。暗闇に光が差し込む、心に優しい物語。

毎日新聞 2020/11/01、読売新聞 2020/11/08、産経新聞 2020/11/29

2020.10./ 266p
978-4-16-401001-3
本体 ¥1,500+税



鏡影劇場

逢坂 剛 著
新潮社

文豪ホフマンにまつわる謎の古文書。その解説が進むにつれ、ホフマンの知られざる人生と共に、現代の日本にまで繋がる不可解な暗号と因縁が浮かび上がり…。『小説新潮』連載を単行本化。結末 68 頁は袋綴じ仕様。

毎日新聞 2020/11/01、毎日新聞 2020/11/14

2020.9./ 687p
978-4-10-364907-6
本体 ¥3,000+税



詩人・菅原道真～うつしの美学～(岩波現代文庫 文芸 136)

大岡 信 著
岩波書店

平安朝最高の漢詩人であった菅原道真。彼の事績に古代日本における外国文化の移入と、それをさらに高次の価値へと結晶させようとする文化的営為を見る。「写す・映す・移す」という意味を含む「うつし」という概念によって道真の軌跡と作品を考察し、「モダニスト」としての道真像を浮き彫りにして、現代文化のあり方をも問う力作。

毎日新聞 2020/11/07

2008.6./ 206p
978-4-00-602136-8
本体 ¥900+税



自閉症は津軽弁を話さない～自閉スペクトラム症のことばの謎を読み解く～(角川ソフィア文庫 L129-1)

松本 敏治 著
KADOKAWA

自閉スペクトラム症(ASD)の方言使用について調査を実施。「自閉症児者が方言を話さないわけ」「自閉症児者が共通語を話すわけ」について著者の解釈を紹介し、自閉症児者が示す、言語やコミュニケーションの特徴を述べる。

毎日新聞 2020/11/07

2020.9./ 287p
978-4-04-400620-4
本体 ¥980+税





銀河の死なない子供たちへ<上>(電撃コミックス NEXT N220-01)

施川 ユウキ 著

KADOKAWA

とうに人類が滅亡した星で、ラップを口ずさむのが大好きな天真爛漫な姉・ π と、いつも読書をしている内向的な弟・マツキは、永遠の命による終わらない日々を過ごしていた。そんなある日…。

2017/9./ 1 冊(ページ

付なし)

978-4-04-893367-4

本体 ¥570+税



毎日新聞 2020/11/07



銀河の死なない子供たちへ<下>(電撃コミックス NEXT N220-02)

施川 ユウキ 著

KADOKAWA

不死の姉弟に育てられた少女ミラは、一人だけ成長することに戸惑いながらも、幸福な時間を積み上げていく。ある晩、姉弟の母親から二人の出自に関する秘密を明かされて…。あらゆる瞬間がいとおいしい。地球で最後の家族愛。

2018/8./ 1 冊(ページ

付なし)

978-4-04-893984-3

本体 ¥600+税



毎日新聞 2020/11/07



食はイスタンブルにあり〜君府名物考〜(講談社学術文庫 2628)

鈴木 董 著

講談社

650 年近くに亘り、栄華を極めたオスマン帝国。東洋と西洋が交差する大都市・イスタンブルで、人々はなにを食べていたのか。古料理書や、市場の食材物価表などを辿り、その興亡史を「食」視点から大胆に考察する。

2020/9./ 251p

978-4-06-520836-6

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2020/11/07



毛の力〜ロシア・ファーロードをゆく〜

山口 ミルコ 著

小学館

極寒のシベリア、先住民族・ウデへの住む村と「毛皮のために命を狙われた獣」クロテンを追う中で、「人間と自然」「人間と動物」の関係に思いを巡らせ…。ガン闘病後、「再生の旅」に出た著者が、ロシアでの日々を綴る。

2014/12./ 171p

978-4-09-379866-2

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2020/11/07



ページ

谷川 俊太郎 著

新潮社

誕生と死。時間。途上の感覚。忘却の快感。声のひびき…。88 歳を迎えた詩人・谷川俊太郎が 70 年に及ぶ詩作から自選し、書き下ろしを加えた 31 篇を収めた詩集。

2020/7./ 109p

978-4-10-401807-9

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2020/11/07



インビジブル

坂上 泉 著

文藝春秋

成り上がり政治家の関係者が次々と殺された。背景は汚職か怨恨か。刑事の矜持を胸に、中卒と帝大卒のバディが戦後大阪の闇に挑む! 実在した「大阪市警視庁」を舞台に描く、戦後史×警察サスペンス。

2020/8./ 349p

978-4-16-391245-5

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/11/07



クマとカラス

帆 著

文藝春秋

ひとりぼっちのクマと、はみ出し者のカラス。出会ったふたりが「かけがえのない仲間」を探して旅に出るが…。友情の物語。『CREA コミックエッセイルーム』連載に描きおろしを加えて書籍化。

2020/9./ 181p

978-4-16-391257-8

本体 ¥950+税



毎日新聞 2020/11/07



政治家の覚悟(文春新書 1287)

菅 義偉 著

文藝春秋

第 99 代内閣総理大臣に就任した菅義偉の原点とは何か。覚悟を持って「国民のために働く内閣」を作り上げると明言した政治家・菅義偉の信念を伝える。『文藝春秋』掲載の官房長官時代のインタビューも収録。

2020/10./ 244p

978-4-16-661287-1

本体 ¥800+税



毎日新聞 2020/11/07



バブル

山口 ミルコ 著

光文社

会社は幻? 幻冬舎創業期を支えた元ベストセラー編集者の山口ミルコ。ボスとの出会いから別れまで。同時代を生きた異業種の女性たちの発言を織り込みながら、自らの会社人生を綴る。『婦人公論』連載を加筆修正し単行本化。

2020/9./ 274p

978-4-334-95197-9

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/11/07



シネマトグラフ覚書～映画監督のノート～

ロベール・ブレッソン、松浦寿輝 著

筑摩書房

毎日新聞 2020/11/07

1987/11./ 216p

978-4-480-87112-1

本体 ¥2,800+税



刑事コロンボの帰還

山口 雅也／大倉 崇裕／樹林 伸／七尾 与史／降田 天／菊池 篤 著

二見書房

「刑事コロンボ」全 45 作を徹底解説。ほか、刑事コロンボ・キャラクターの原点、俳優ピーター・フォーク私的考察や樹林伸、大倉崇裕らコロンボを愛する人気作家による、書き下ろしトリビュート短編小説なども収録する。

2020/11./ 341p

978-4-576-20169-6

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2020/11/07



折口信夫の晩年

岡野 弘彦 著

慶應義塾大学出版会

昭和 22 年から 28 年 9 月の逝去まで、折口信夫の晩年 7 年間に共に生活した著者による追憶の書。師・柳田国男に対する礼のありよう、若き日に常用したコカインの影響で利かなくなった臭覚など、日常生活を生き生きと描く。

2017/10./ 301p

978-4-7664-2476-8

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2020/11/07



岡野弘彦インタビュー集 歌は世につれ情は歌につれ

本阿弥書店

毎日新聞 2020/11/07

2020:7./ 391p

978-4-7768-1484-9

本体 ¥3,000+税



靖国神社論

岩田 重則 著

青土社

神道でありながら、死者を祀るという鎮魂のありかたを誕生させた靖国神社。これまでにない祭祀のかたちはどこからきて、どのように錬磨されていったのか。近現代がつくりだした鎮魂の起源と思想の源流をたどる。

2020:8./ 637p,9p

978-4-7917-7294-0

本体 ¥4,400+税



毎日新聞 2020/11/07



毛のない生活

山口 ミルコ 著

ミシマ社

会社が大好きな敏腕編集者が、思いもよらぬ退社。その一カ月後、ガンを宣告され、突然闘病生活が始まる…。毎日を真摯に生きる全ての現代人に捧げる闘病記。『平日開店ミシマガジン』連載に日記を加えて再構成。

2012:2./ 163p

978-4-903908-33-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2020/11/07



詩人・菅原道真～うつしの美学～(岩波文庫 緑 202-4)

大岡 信 著

岩波書店

日本の文化伝統のなかに深い根拠をもって生きている「うつしの美学」。菅原道真の詩は「うつしの美学」が生んだ最もめざましい実例である。語られざる古代のモダニストの実像とは。和歌の詩情を漢詩で詠んだ詩人を論じる。

2020:10./ 235p

978-4-00-312024-8

本体 ¥600+税



毎日新聞 2020/11/07、朝日新聞 2020/11/28



最後のダ・ヴィンチの真実～510 億円の「傑作」に群がった欲望～

ベン・ルイス／上杉 隼人 著

集英社インターナショナル

13 万円で買われた絵は、なぜ 12 年で 510 億円になったのか？ ダ・ヴィンチの名画、男性版モナリザ「サルバトル・ムンディ」がどのような歴史をたどり、どんな人物の手に渡っていったのかを描いたノンフィクション。

2020:10./ 461p

978-4-7976-7387-6

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2020/11/07、日本経済新聞 2020/11/21



石の肺～僕の asbestos 履歴書～(岩波現代文庫 文芸 327)

佐伯 一麦 著

岩波書店

石綿(asbestos)による被害は、国家の名のもとに行われた人体実験の結果ではないのか？ みずからも後遺症に苦しむ私小説作家が被害の最前線を歩き、「静かな時限爆弾」の実態を、怒りを込めて告発する。

2020:10./ 8p,291p

978-4-00-602327-0

本体 ¥1,120+税



毎日新聞 2020/11/14



人間とは何か〜偏愛的フランス文学作家論〜

中条 省平 著

講談社

サド、ランボー、カミュ…。フランス文学者・中条省平が自身の「文学による感情教育」を語りつつ、フランス文学史を彩る 31 名の作家たちを通して、人間精神の多彩な運動の軌跡を描き出す。『群像』連載を改題して単行本化。

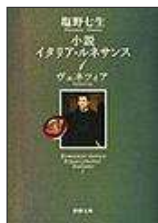
2020/9./ 599p

978-4-06-520899-1

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2020/11/14



小説イタリア・ルネサンス<1> ヴェネツィア(新潮文庫 し-12-21)

塩野 七生 著

新潮社

時は 16 世紀。ヴェネツィア共和国の若き外交官マルコは、スペインとトルコに挟撃される国難打開の密命を託される。だが、トルコでマルコを出迎えた旧友で元首の庶子アルヴィーゼの瞳には暗い光が灯り…。

2020/10./ 385p 図版

6 枚

978-4-10-118121-9

本体 ¥1,100+税



毎日新聞 2020/11/14



世界で一番美しい「もの」のしくみ図鑑

セオドア・グレイ 著

創元社

スケルトン家電、鍵、時計、はかり…。身の回りの製品の内部では何がどんなふうに機能しているのかを豊富なカラー写真で楽しく説明し、機械にまつわる物語や歴史を紹介する。機械仕掛けを愛する人、必携の一冊。

2020/9./ 256p

978-4-422-50002-7

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2020/11/14



和室学〜世界で日本にしかない空間〜(住総研住まい読本)

松村 秀一／服部 岑生 編

平凡社

和室、この特異で静謐な空間-。木材と紙の特長を十全に活かした、日本家屋のシンボルというべき和室の歴史と現状から将来への展望までを論じる。優れた和室の特長、日本人の生活・精神文化との深い関わりを伝える「和室」論。

2020/10./ 369p

978-4-582-54468-8

本体 ¥3,400+税



毎日新聞 2020/11/14



地元を生きる〜沖縄的共同性の社会学〜

岸 政彦／打越 正行／上原 健太郎／上間 陽子 著

ナカニシヤ出版

階層格差という現実の中で生きられる沖縄的共同性とは。教員、公務員、建築労働者、風俗嬢などへの膨大なフィールドワークで、さまざまな人びとの「沖縄の人生」を綴る。

2020/10./ 28p,439p

978-4-7795-1497-5

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2020/11/14



命の経済〜パンデミック後、新しい世界が始まる〜

ジャック・アタリ 著

プレジデント社

過去のパンデミックから得られる教訓とは。この感染症を克服するには。以前の生活水準や生活様式を取り戻せるのか。個人の自由を保護できるのか-。欧州最高峰の知性が、歴史を紐解き、現状を分析し、来るべき未来を予測する。

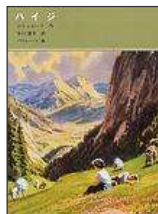
2020/10./ 307p,15p

978-4-8334-2387-8

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2020/11/14



ハイジ(福音館古典童話シリーズ)

ヨハンナ・シュピーリ 著

福音館書店

アルプスの自然を愛する少女ハイジの、素朴で無邪気な愛の力は、魔法のように周囲の人たちを変えてしまいます。原書の見事な絵を復刻した、古典中の古典の決定版です。

1974.12./ 505p

978-4-8340-0439-7

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2020/11/14



子供時代(ルリユール叢書)

ナタリー・サロート 著

幻戯書房

「私」と「あなた」の対話で始まる、言葉とイメージと記憶の物語。ヌーヴォー・ロマン作家サロートが到達した、伝記でも回想でもない、トロピスムによる「子供時代の思い出の想起」という、まったく新しい自伝小説。

2020.8./ 372p

978-4-86488-202-6

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2020/11/14



実況・比較西洋建築史講義

中谷 礼仁 著

インスクリプト

建築史家・中谷礼仁による早稲田大学創造理工学部建築学科「比較西洋建築史」の講義を書籍化。互いに遠い建物や事象に比較という手法を当てはめ通常では考えられない時間的・空間的な幅を生み出す試み。折り込み式の地図付き。

2020.10./ 205p

978-4-900997-83-7

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2020/11/14



古井由吉論～文学の衝撃力～

富岡 幸一郎 著

アーツアンドクラフツ

つねに現代小説の最先端を切り開いた作家・古井由吉。その初期から晩年までの作品をたどる作家論。「フィクションらしくないところから嘘をついてみようか」など、古井由吉との対談2篇も併録する。

2020.9./ 219p

978-4-908028-53-3

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/11/14



水都東京～地形と歴史で読みとく下町・山の手・郊外～(ちくま新書 1520)

陣内 秀信 著

筑摩書房

東京の象徴「隅田川」、文明開化のモダンな建築群が水辺を飾った日本橋川、豊かな自然環境を保有する皇居・外濠、古代の記憶に触れることができる武蔵野…。東京各地をめぐりながら、魅力的な水都の姿を描き出す。

2020.10./ 334p

978-4-480-07348-8

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2020/11/14、朝日新聞 2020/11/21、日本経済新聞 2020/11/28



ワカタケル

池澤 夏樹 著

日本経済新聞出版社

形のないものが形あるものになった、実在した天皇とされる21代雄略の御代。日本人の心性はこの頃始まった。言葉の魂を揺さぶり、古代から繋がる「日本語」という文体の根幹に接近する。『日本経済新聞』連載を単行本化。

2020.9./ 429p

978-4-532-17158-2

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/11/14、読売新聞 2020/11/15



はじめての催眠術(講談社現代新書 2587)

漆原 正貴 著

講談社

言葉を与えられるだけで、立てなくなったり、何かを好きになったり、自分の名前を忘れたり。暗示の力は強く、人の認知は変わりやすい。催眠の知識のない人が、最短距離で催眠ができるようになる方法を平易に解説する。

毎日新聞 2020/11/15

2020/9./ 205p

978-4-06-520892-2

本体 ¥860+税



われもまた天に

古井 由吉 著

新潮社

自分が何処の何者であるかは、先祖たちに起こった厄災を我身内に負うことではないのか。現代日本文学をはるかに照らす古井由吉の最後の小説集。表題作ほか「雛の春」、未完の「遺稿」など全4編を収録。『新潮』掲載を書籍化。

毎日新聞 2020/11/21

2020/9./ 139p

978-4-10-319212-1

本体 ¥2,000+税



金箔のコウモリ

エドワード・ゴーリー 著

河出書房新社

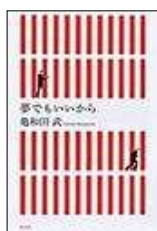
少女モーディーはバレエ修行の後、時代を象徴するバレリーナとなるが…。独特の韻を踏んだ文章と、独自のモノクローム線画が特徴のエドワード・ゴーリーが、初めてバレエを題材に描いた20作目の絵本。

毎日新聞 2020/11/21

2020/11./ 1冊(ページ付なし)

978-4-309-29112-3

本体 ¥1,300+税



夢でもいいから

亀和田 武 著

光文社

尾崎豊、三谷幸喜、川上麻衣子、上祐史浩、内田裕也…。もう一度会いたい人や、もう二度と会えない人。忘れられない人たちと過ごした濃密なひとときを綴るエッセイ集。『小説宝石』掲載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2020/11/21

2020/6./ 237p

978-4-334-91353-3

本体 ¥1,800+税



パウルを探して〜地球の片隅に伝わる秘密の歌〜

川内 有緒 著

幻冬舎

18世紀終わりに生を享けた伝説の男ロン・フォキルが作った「パウルの歌」は、何のために数百年もの間、歌い継がれているのか。アジア最貧国バングラデシュに飛び込み、歌の正体を追いかけた旅の記録。

毎日新聞 2020/11/21

2013/2./ 294p

978-4-344-02330-7

本体 ¥1,500+税



絵の幸福〜シタラトモアキ論〜

秋庭史典 著

みすず書房

幼少時から「息をするように絵をかいてきた」画家・設楽知昭は、ある時、絵をかくとはどういうことがわからなくなった。そのリハビリテーションの試みを、美学研究者が追う。論考・対話・作品の図版で構成した美しい本。

毎日新聞 2020/11/21

2020/9./ 171p,7p

978-4-622-08932-2

本体 ¥4,000+税





患者の話は医師にどう聞こえるのか〜診察室のすれちがいを科学する〜

ダニエル・オーフリ 著

みすず書房

最大にして最良の診断ツールは医師と患者の会話。患者は伝える努力をしているだろうか？ 医師は受け取る努力をしているだろうか？ 米国の内科医がヒューマンストーリーを通して、医師と患者のコミュニケーションを徹底分析。

2020:11./ 282p,11p

978-4-622-08951-3

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2020/11/21



善と悪のパラドックス〜ヒトの進化と<自己家畜化>の歴史〜

リチャード・ランガム 著

NTT出版

協力的で思いやりがありながら、同時に残忍で攻撃的な人間の特性は、いかにして育まれたのか？ 世界を舞台に活躍する人類学者が、<自己家畜化>という人間の進化特性を手がかりに人類進化の秘密に迫る。

2020:10./ 464p

978-4-7571-6080-4

本体 ¥4,900+税



毎日新聞 2020/11/21



トラウマにふれる〜心的外傷の身体論的転回〜

宮地 尚子 著

金剛出版

傷を語ることは、そして傷に触れることはできるのか？ 治療者のポジショナリティとはいかなるものか？ 傷ついた心と癒されゆく身体、その波打ち際でトラウマと向き合う精神科医の、思索の軌跡と実践を集成。

2020:9./ 10p,329p

978-4-7724-1770-9

本体 ¥3,400+税



毎日新聞 2020/11/21



マザー・グースのうた<第5集> マザー・グースのおっかさん

谷川俊太郎、堀内誠一 著

草思社

毎日新聞 2020/11/21

1976:6./ 63p

978-4-7942-0050-1

本体 ¥1,300+税



名投手〜江夏が選ぶ伝説の21人〜(ワニブックス|PLUS|新書 303)

江夏 豊 著

ワニブックス

金田正一、村山実、稲尾和久、北別府学、野茂英雄、松坂大輔、田中将大、菅野智之…。伝説の左腕・江夏豊が豊富な経験、知識を駆使してプロ野球史に残る名投手から令和時代の新戦力まで語り尽くす。

2020:8./ 207p

978-4-8470-6645-0

本体 ¥890+税



毎日新聞 2020/11/21



日本習合論

内田樹 著

ミシマ社

外来のものと土着のものが共生するとき、私たちの創造性はもっとも発揮される。「習合」という概念を手がかりにして、共同体から民主主義、農業、宗教、働き方まで日本文化の諸相を論じ、その問題点と可能性を看破する。

2020:9./ 293p

978-4-909394-40-8

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/11/21



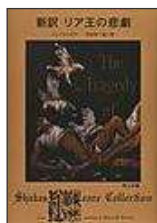
砂戦争～知られざる資源争奪戦～(角川新書 K-338)

石 弘之 著
KADOKAWA

文明社会を支えるビルや道路、パソコンの半導体などの原料は「砂」。地球規模で都市化が進む現在、すでに砂の争奪戦が始まっている。違法採掘、マフィアの暗躍…。人間の欲望と砂資源の今を、環境問題の第一人者がレポート。

毎日新聞 2020/11/28

2020.11./ 250p
978-4-04-082363-8
本体 ¥900+税



新訳リア王の悲劇(角川文庫 Shakespeare Collection シ 6-19)

シェイクスピア 著
KADOKAWA

引退を決意した古代ブリテンの老王リア。財産分与のため 3 人の娘に自分への愛を競わせるが、長女と次女の結託により、全てを奪われ…。シェイクスピアの四大悲劇の最高傑作。改訂版の全訳に初版の台詞、徹底解説を付す。

毎日新聞 2020/11/28

2020.10./ 270p
978-4-04-108792-3
本体 ¥720+税



共同幻想論 改訂新版 改版(角川ソフィア文庫 G102-5)

吉本 隆明 著
KADOKAWA

国家は共同の幻想。風俗や宗教や法もまた共同の幻想。習慣や民俗、土俗的信仰がからんでつくりあげた精神の慣性も、共同の幻想-。「戦後思想の巨人」が、裸の国家像を露呈させる。川上春雄の解題、中上健次の解説も収録。

毎日新聞 2020/11/28

2020.6./ 372p
978-4-04-400576-4
本体 ¥960+税



評伝 石牟礼道子～渚に立つひと～(新潮文庫 よ-43-1)

米本 浩二 著
新潮社

いかにして「苦海浄土」は書かれ得たか? 作者・石牟礼道子の誕生から文学的彷徨、闘争の日々、暮らしと命を見つめてやまなかった晩年まで、創造の源泉と 90 年の豊饒を描き切る、初の本格的評伝。

毎日新聞 2020/11/28

2020.2./ 474p
978-4-10-101851-5
本体 ¥750+税



魂の邂逅～石牟礼道子と渡辺京二～

米本 浩二 著
新潮社

作家・石牟礼道子と、その全活動を支えた編集者・渡辺京二。ふたりの半世紀にわたる共闘と愛を、秘められた日記や書簡、発言から跡づける。『新潮』連載を改稿し、書下ろしを加え単行本化。

毎日新聞 2020/11/28

2020.10./ 250p
978-4-10-350822-9
本体 ¥1,800+税



ナチの妻たち～第三帝国のファーストレディー～

ジェイムズ・ワイリー 著
中央公論新社

悪名高き男たちの陰にいた第三帝国のファーストレディーたち。これまでその重要性が無視されてきた彼女たちの闘争、権力掌握から、凋落、破滅、戦後の否定に至るまでを丹念に追ったノンフィクション。

毎日新聞 2020/11/28

2020.11./ 380p
978-4-12-005351-1
本体 ¥2,700+税





ローマ史再考～なぜ「首都」コンスタンティノープルが生まれたのか～(NHK ブックス 1265)

田中 創 著

NHK出版

五賢帝から 100 年後の 3 世紀末から 6 世紀半ばまで、元老院、軍隊、教会、住民らと皇帝との利害調整の場としてコンスタンティノープルが機能する様子を活写。ローマ帝国の歴史について革新的な読み直しを迫る。

2020/8./ 254p

978-4-14-091265-2

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2020/11/28



現代の英雄(光文社古典新訳文庫 KAレ1-1)

レールモントフ 著

光文社

カフカス旅行の道中に知り合った壮年の二等大尉から、彼のかつての若い部下ペチョーリンの話を聞いた「私」。身勝手だが憎めないペチョーリンの人柄に興味を覚え、彼の手記を手に入れるが…。ロシアのカリスマ的作家の代表作。

2020/10./ 371p

978-4-334-75433-4

本体 ¥1,060+税



毎日新聞 2020/11/28



記憶のデザイン(筑摩選書 0198)

山本 貴光 著

筑摩書房

かつてない速さで記憶が書き換えられていくなか、記憶を良好な状態に保つには何が必要か。記憶が成り立つ条件を考察し、記憶の特質を踏まえ「知識 OS」「知識アトラス」など、記憶を“世話”するためのアイデアを提示する。

2020/10./ 222p

978-4-480-01717-8

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2020/11/28



私流演技とは～わが役者人生の歩みとともに～

嵐 圭史 著

本の泉社

舞台生活 70 年、長く劇団前進座の大看板を勤め、歌舞伎から現代劇まで数々の名舞台で知られる嵐圭史が、自身の役者人生の歩みとともに、演劇創造の過程を鮮やかに綴る。

2020/9./ 221p

978-4-7807-1977-2

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2020/11/28



オナカシロコ(短歌日記 2019)

藤島 秀憲 著

ふらんす堂

飲みたりぬま帰来て飲みたりぬ心のためにつくる雑炊 2019 年の 1 年間、歌人・藤島秀憲が詠んだ短歌を日付順に収録。『ふらんす堂ホームページ』に掲載したものを書籍化。

2020/10./ 382p

978-4-7814-1324-2

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/11/28



江戸から見ると<1>

田中 優子 著

青土社

江戸と現代を往還すると、世界はどのように見えるのだろうか? 政治、経済、教育、文学、芸術芸能まで、江戸文化研究者・田中優子が多岐にわたって論じる。『毎日新聞』連載ほかを加筆修正。

2020/10./ 330p

978-4-7917-7317-6

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/11/28



江戸から見ると<2>

田中 優子 著

青土社

私たちが生きる社会は、どのように成り立っているのか？ 東京のことから、憲法、ジェンダー、国際政治の課題、大学の現状まで、江戸文化研究者・田中優子が切り口するどく論じる。『毎日新聞』連載ほかを加筆修正。

2020:10./ 292p

978-4-7917-7318-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/11/28



すみれそよぐ〜句集〜

神野 紗希 著

朔出版

まばたきの子象よ春はこそばいか こんな日を小春と名付けたる人よ 胎動に覚め金色の冬林檎 鯛焼を割って私は君の母 20代最後から30代半ばにかけての2012年夏〜2020年春に作った344句を収めた第3句集。

2020:11./ 192p

978-4-908978-55-5

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/11/30